

ひっとプラン 港北

港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画



©横浜市港北区ミズキー

港北区役所・港北区社会福祉協議会

<平成 24 年度版>

目 次

第1章 「ひっとプラン港北」とは

1 「ひっとプラン港北」とは	1
2 基本理念	1
3 推進の3つの柱 ～ひろがる・つながる・とどく～	1
4 「ひっとプラン港北」の構成	2
5 「ひっとプラン港北」の進め方	2

第2章 13地区計画

1 13地区ごとの地区別計画	3
2 各地区計画	4
●日吉地区	5
光と活力に満ちあふれる日吉	
～一つひとつの活動が光り、大きな活力に発展するまち～	
●綱島地区	9
元気でふれあうまち 綱島	
いつまでも住んでいたい町	
●大曽根地区	13
ハートフル 大曽根	
●樽町地区	17
思いあいのまち 樽町	
●菊名地区	21
みんなで支えあうまちづくり	
●師岡地区	25
わが町師岡	
—安全・安心・住みよい町づくり—	
●太尾地区	29
『あいの町太尾』	
—ふれあい・支えあい・助けあい—	
●篠原地区	33
「わがまち篠原」	
●城郷地区	37
たすけあうまち城郷	
●新羽地区	41
「和・輪・話」のまち につば	
平和・福祉の「和」、みんなが手をつなぐ「輪」、 みんなが話し合う「話」	
●新吉田地区	45
いいな！みんなのまち新吉田	
●新吉田あすなろ地区	49
もっと・ホットに「あすなろ」	
●高田地区	53
みんなが笑顔、助け合いのまち高田	

第3章 区全体計画

1	6つの目標	57
2	平成23年度の振り返りと平成24年度の取り組み	57
3	区役所の取り組み	64
4	区社会福祉協議会の取り組み	66

第1章 「ひっとプラン港北」

1 「ひっとプラン港北」とは

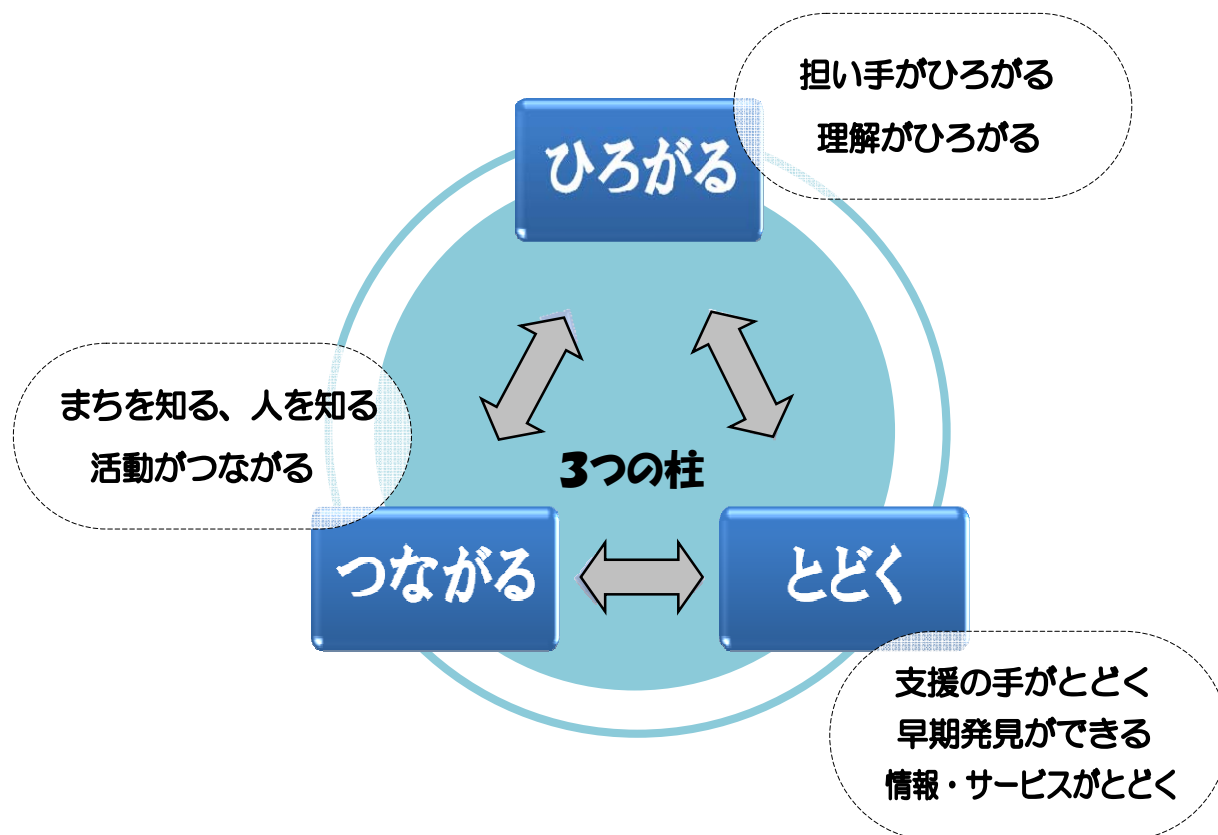
「ひっとプラン港北」は、基本理念の実現のため、行政と区民、事業者が協働で取り組む計画の愛称です。この計画の期間は平成23年度から平成27年度までの5年間で、港北区役所（以下、区）の「港北区地域福祉保健計画」と港北区社会福祉協議会（以下、区社協）の「港北区地域福祉活動計画」を一体化したものです。

2 基本理念

誰もが安心して暮らせるまち港北

住民ひとりひとりが主役です。地域の活動が幅広く結びついたネットワークの力で、身近な福祉保健課題を解決することを目指します。

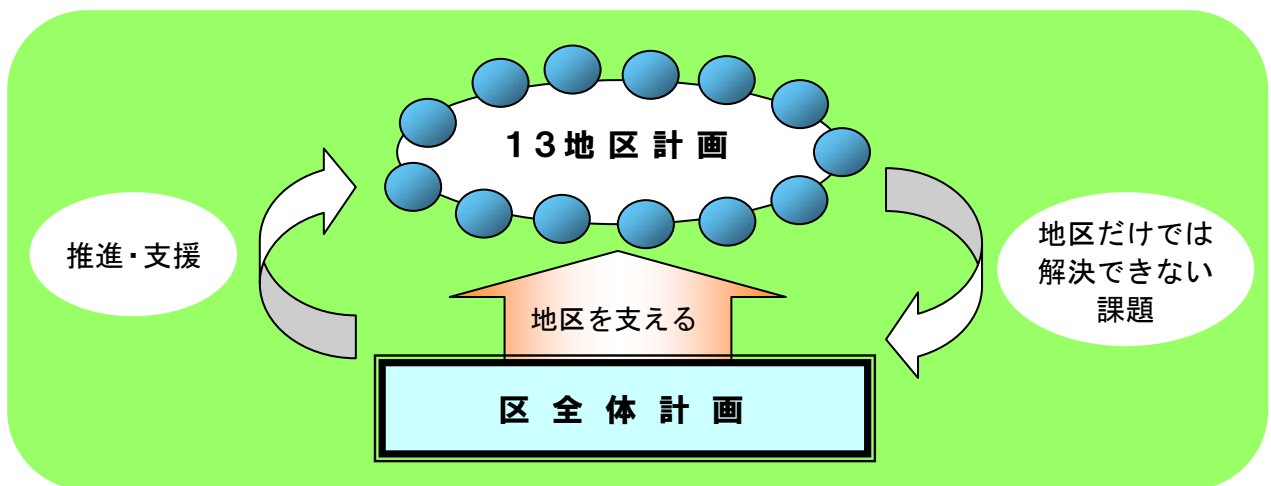
3 推進の3つの柱 ～ひろがる・つながる・とどく～



4 「ひっとプラン港北」の構成

人口32万人を超える港北区では、地域によって様々な特徴があり、実情に応じた適切な対応をしていくことが必要です。そこで、連合町内会のエリアを単位とした13の「地区計画」を地域の皆様と一緒に策定し、その地域の課題解決に向けた取り組みを行っています。

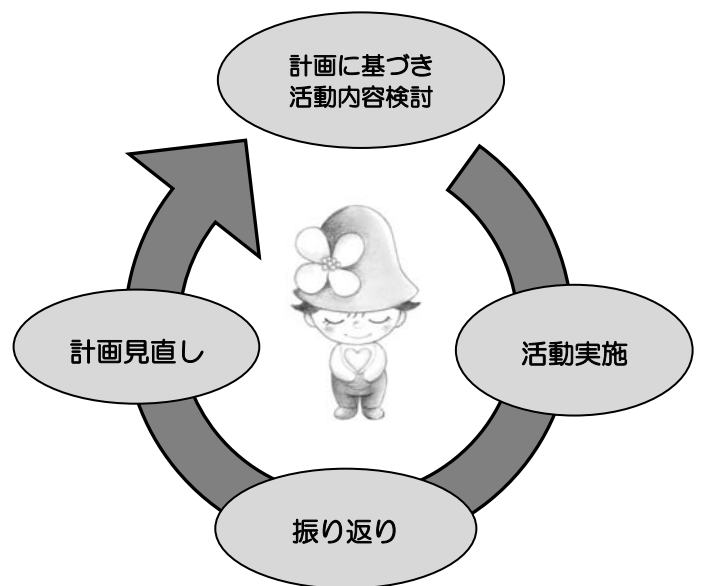
区全体計画は、地域課題に対して区役所と区社協が取り組むものです。区役所と区社協は互いに協力し、地域ケアプラザとも連携しながら、13地区の取組がスムーズに行なわれるように支援するとともに、各地域共通の課題にも取り組みます。



5 「ひっとプラン港北」の進め方

「ひっとプラン港北」は5か年計画ですが、1年ごとに進捗状況を確認し、地域の実情を反映しながら計画の見直しを行います。

13の地区計画はそれぞれの地区の推進委員会で推進と振り返りを行っていき、区全体計画は、外部委員で構成される推進委員会からご意見をいただきながら、区と区社協がそれぞれに、または連携して推進と振り返りを行います。



第2章 13地区計画

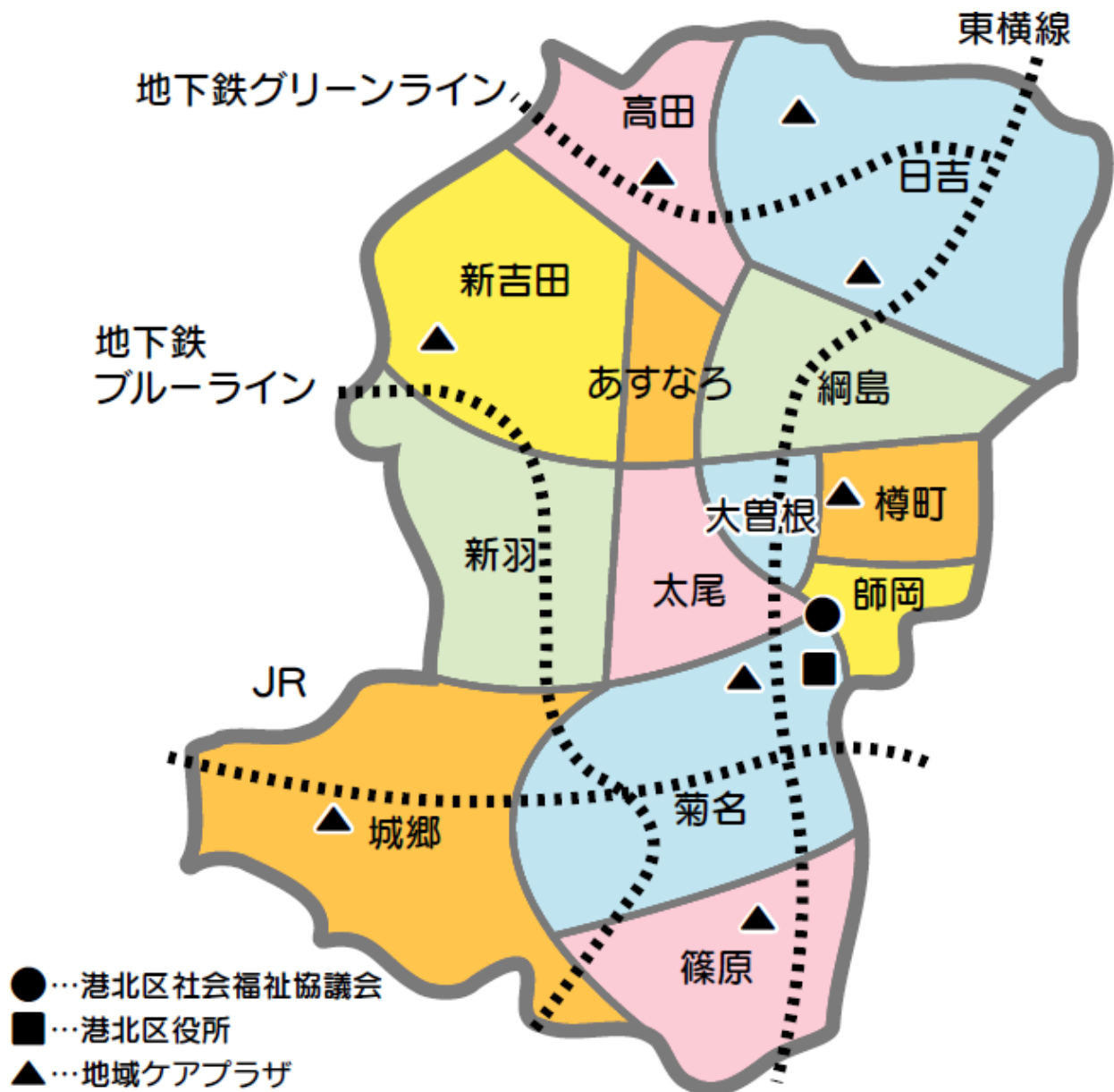
1 13地区ごとの地区計画

港北区内には、自治会町内会相互の連絡調整を行ったり、地域住民の福祉増進のために広域的な事業を実施する地域住民組織として13の地区連合町内会があります。

また、連合町内会エリアごとに地区社会福祉協議会があり、地域住民や福祉保健活動団体、福祉関係機関など様々な団体が会員となり、お互いに協力しあって福祉のまちづくりを進めています。

地区計画は連合町内会（地区社会福祉協議会）エリアを単位とした13の地区ごとに、住民が主体となり策定委員会を立ち上げ策定を行いました。引き続き各地区では、地区計画推進委員会を中心に計画を推進しています。

13地区のエリアは以下のとおりです。

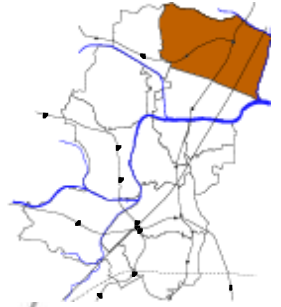


2 各地区計画

地区名	名 称	ページ
日吉地区	光と活力に満ちあふれる日吉 ～一つひとつの活動が光り、大きな活力に発展するまち～	5
綱島地区	元気でふれあうまち 綱島	9
大曽根地区	いつまでも住んでいたい町 ハートフル 大曽根	13
樽町地区	思いあいのまち 樽町	17
菊名地区	みんなで支えあうまちづくり	21
師岡地区	わが町師岡 ー安全・安心・住みよい町づくりー	25
太尾地区	『あいの町太尾』 ーふれあい・支えあい・助けあいー	29
篠原地区	「わがまち篠原」	33
城郷地区	たすけあうまち城郷	37
新羽地区	「 ^わ 和・ ^わ 輪・ ^わ 話」のまち につば 平和・福祉の「和」、みんなが手をつなぐ「輪」、 みんなが話し合う「話」	41
新吉田地区	いいな！みんなのまち新吉田	45
新吉田 あすなろ地区	もっと・ホットに「あすなろ」	49
高田地区	みんなが笑顔、助け合いのまち高田	54

光と活力に満ちあふれる日吉

～ 一つひとつの活動が光り、大きな活力に発展するまち ～



* 横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
 * 横浜市地形図複製承認番号 平 24 建都計第 9006 号

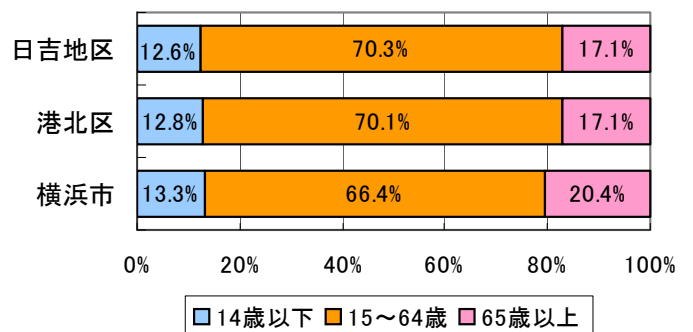
◆日吉地区の人口

世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
日吉地区	34,238	69,612	2.03
港北区	159,058	328,013	2.06
横浜市	1,707,980	3,702,388	2.17

*平成 24 年 3 月末現在

年齢3区分別人口構成



◆わたしたちのまちの特色

日吉地区は港北区の最北部に位置し、東急東横線日吉駅を挟んで東西に長く、区内で最も広い面積と最も多くの人口を抱えています。交通は南北を東急東横線が、東西を市営地下鉄グリーンラインが通り、横浜市中心部やニュータウン、都内へのアクセスに便利な地域でもあります。

山坂が多く比較的緑豊かな地域で、学生の街としてアパートが多く、大規模団地もあり、転出入者や核家族が多いという特徴があります。

◆これまでの頑張り

日吉地区は大きく分けて5つのまち（日吉町、日吉宮前、箕輪、日吉本町、下田）からなりたっています。それぞれのまちでは、自治会町内会、地区社会福祉協議会、ケア連絡会、ボランティアグループ、様々な福祉活動グループなどが、地域ケアプラザ（下田、日吉本町）や町内会館等を拠点として、様々な助け合い・支え合いの地域社会づくりの活動を行っています。高齢者向けの食事会や子育て支援のサロン、障がい児者とのふれ合いなど実に多彩な活動が行われています。

第1期地域福祉保健計画では、まちを越えた分科会活動（福祉のまち日吉ネットワーク会議）により、日吉地区としての障がい・高齢者・ボランティア・子育ての分野別の活動をつくりました。

さらに福祉実践活動発表会“光と活力”を開催し、地区社協が中心となって日吉地区内全体にわたる活動発表の場をつくりました。

◆これから目指していく姿

日吉地区では、福祉実践活動発表会“光と活力”をこれからも更に拡充し、活動の交流からさらに発展させ、活動のネットワークづくりを目指します。

また一方で、港北区の地区別計画の策定範囲としては最も広い面積と最も多くの人口を抱える中で、5つのまちそれぞれにおいて、お互いの顔の見える関係づくりを進めます。顔の見える関係で醸成される助け合い・支え合いの精神が、子どもからお年寄りまで、障がいのある方もない方もみんなが安心してくらするまちづくりの基礎となります。またご近所で、子育てに悩む方や介護の必要な高齢者など福祉保健サービスが必要な方の早期発見・早期対応にも、地域の絆をしっかりとち、できることをやっていくことが、ご近所との関係づくりに大切です。

活動のネットワークづくりとご近所での顔の見える関係づくりにより、「一つひとつの活動が光り、大きな活力に発展するまち 日吉」をつくっていきます。



下田町 防災講演会



宮前自治会 広報誌づくりの会議



箕輪町 ホームページ

◆わたしたちのまちの取り組み

キーワード		取 り 組 み	
		目 標	具 体 策
こころが つながる	理解	地域に暮らす障がい児者との、顔の見える関係をつくり、障がいのある方々の理解と地域参加を広げます。	<ul style="list-style-type: none"> ・家や学校、職場以外で障がい児者が安心して過ごせる場、家族がホッとできる場をつくります。 ・障がいのある方とない方が理解しあえるような交流の場をもちます。
	担い手	幅広い世代の地域参加を促進し、地域活動やボランティア活動に参加する方を増やします。	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに地域活動に参加する（地域デビュー）方を増やすために、様々な工夫をしていきます。
つながる	ご近所	向こう三軒両隣の近所づきあいを大切に、高齢者・障がい児者などの災害時の援護や、日頃の見守りとなる、人のつながりをつくります。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動で、知らない方とも心がかよえるコミュニケーションをつくります。 ・訪問活動により、災害に備えた要援護者対策、高齢者などの孤立防止などの見守り活動を行います。 ・それぞれのまちのなかに、高齢者、子育て、障がい児者などの居場所となるサロン（居場所）をつくります。
	知る	様々な活動を地域に住んでいる多くの方に知っていただくように努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉実践活動発表会“光と活力”を引き続き開催していきます。 ・多くの方に情報を発信する、まちのホームページを作成し、また、広報紙も発行します。
	活動	活動に取り組んでいる人と人が交流し、ネットワークをつくります。	<ul style="list-style-type: none"> ・“光と活力”を拡充し、ネットワークづくりにつなげていくさまざまな試みを行っていきます。
こころが つながる	情報	福祉保健サービスについての情報や、地域の様々な福祉保健活動についての情報が、多くの地域住民に届くようにします。	<ul style="list-style-type: none"> ・行政などと連携した、講演会や啓発活動を行います。
	早期発見	子育てに悩む方や介護の必要な高齢者など福祉保健サービスが必要な方の早期発見を行い、地域ケアプラザや行政など関係機関に連絡します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご近所の顔の見える関係づくりで見守り活動を行います。 ・高齢者などの孤立防止の活動を行います。



日吉本町 障がい児のよりどころ



日吉町親和会 老人クラブ

これからさらに目指したいこと

【日吉町地区】

サロン日吉「なかよし」を7月には立ち上げたい。3町会共同で子どもから大人まで寄り合えるところ。

【日吉宮前地区】

広報紙“みやまえ”10月発行を目指していく。広報活動の強化。

【箕輪地区】

ホームページを充実させ、情報をいち早く伝える。

【日吉本町地区】

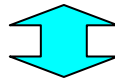
障がい児(中・高生)のよりどころが発足し、さらに拡充していく。

<毎月第3(土)13:30~15:30 まで>

【下田地区】

異世代交流を拡充していく。

☆地区内活動の発表・交流の場として、福祉実践活動発表会“光と活力”を充実させていく。



日吉地区のボランティア・サークル等の活動

子育て

情報発信(広報誌等)
多くの活動グループ

高齢者

介護予防&サロン&配食活動

障がい児・者

障がい理解のための啓発活動
障がい児訓練会・放課後余暇支援事業
地域活動ホームのアルミ缶回収

広報

ひよし社協
ひよしケア連

ボランティア

ボランティアの発掘、
育成、情報交換
学生たちへの募集や教育

交流

福祉実践活動発表会“光と活力”
バザー
小学生との給食交流等
大学との連携(ヒヨシエイジ等)

◆ふり返りの仕方

毎年、計画推進委員会において、それぞれの地区・団体の活動の振り返りを行い、次の一年の取り組みについて計画を策定します。

◆最後に

本計画の策定にあたっては、地区別計画策定委員会、5つのまち別の部会を開催し、多くの方が参加して意見・情報交換を行いました。

「光と活力に満ちあふれる日吉」推進委員会

委員長：片野芳昭(日吉地区社会福祉協議会会長・日吉町自治会会長)

◆わたしたちのまちの特色

綱島地区は鶴見川河川敷や綱島市民の森、綱島公園といった自然環境に恵まれており、綱島桃まつり、綱島桜まつり、綱島地区センター文化祭、少年すもう大会など、お祭りやイベントも盛んです。綱島街道の西側には綱島駅と商店街があり、東側ではマンション建設が現在も進んでいます。

地区内に小学校が3校あり、港北区内で唯一の特別支援学校もありますが、中学校はありません。

土地はおおむね平坦ですが、一部に歩道がない、道が狭いなど、道路事情のあまりよくないところがあります。



綱島桃まつり



綱島桜まつり



綱島第九演奏会



綱島少年すもう大会

◆これまでの頑張り

綱島地区の第1期地域福祉保健計画では、災害時要援護者支援に取り組み、地区内の要援護者の把握と定期訪問活動を行ってきました。

さらに綱島地区では、配食サービス、サロン活動、敬老会などを通じた高齢者支援や、子育てサロンや公園遊びを通じた子育て支援、お祭りなどを通じた障がい者との交流、防災訓練など様々なたすけあいの取り組みが行われています。詳しくは、綱島地区活動一覧をご覧ください。

◆これから目指していく姿

綱島地区では、盛んに行われている行事・イベントをきっかけにした、地域のさまざまな人材が協働するまちづくりや、幅広い世代がささえあい・たすけあいを実践するまちづくりをすすめ、また、その担い手の発掘・育成にも取り組んでいきます。特に小学校・特別支援学校等と協力して、子どもたちの地域への理解を深め、おもいあう心を育てるとともに、地域で子どもを見守るまちづくりをすすめます。

地区センターや自治会館・町内会館といった場所で行われている活動をさらにひろげるとともに、活動団体のヨコのつながりをつくり、幅広い世代が日ごろから顔の見える関係づくりを図っていきます。

災害時要援護者支援の活動もさらに広げ、一人暮らし高齢者や障がい児・者などを見守るまちづくりをすすめます。

こうした人と人の顔の見えるつながりづくりから、地域について一緒に考え、一緒に取り組む、地域福祉のしくみづくりをすすめます。



ふれあって北綱島
(北綱島特別支援学校)

◆わたしたちのまちの取り組み

キーワード		取 り 組 み	
		目 標	具 体 策
つながる	理解	子どもを含めた幅広い世代が、一緒に活動することで、地域のこと、そして地域に暮らすさまざまな人(高齢者や障がい児・者含む)のことを理解し、ささえあいを実践するまちをつくります。	地域の団体(自治会町内会・地区社協・地区民児協など)の行う行事・イベントに、幼稚園・保育園・小中学校・特別支援学校・ボランティア団体・商店街などの参加を進め、互いの交流をひろげます。 また、幼稚園・保育園・小中学校・特別支援学校・ボランティア団体・商店街などが行う行事・イベントに、地域の方々が広く参加するよう、地域の団体(自治会町内会・地区社協・地区民児協など)を通して呼びかけます。
	担い手	地域行事・イベントへの幅広い世代の方々の参加をきっかけにした、担い手の発掘・育成をすすめます。	上記のさまざまな団体が、互いに行事・イベントにおける担い手を紹介しあい、「こんなことをやってくださっている」「こんなことが楽しかったそうだ」といった情報をひろげます。また、行事・イベントの実行委員会などを中心に、活動を始めるにあたってのガイドなど、担い手への相談・支援もひろげます。
つながる	知る	日ごろの見守りや災害時に援護が必要な人が地域に暮らしていることを、地域の人達が知り、ささえあいのまちをつくります。	これまで取り組んできた災害時要援護者支援をさらにひろげます。訪問活動などにより、一人暮らし高齢者や障がい児・者といった方々を把握し、見守り活動につなげます。
	活動	子どもや高齢者、障がい児・者などに関わるさまざまな活動のつながりをつくり、幅広い世代同士の、日ごろから顔の見える関係づくりをすすめます。	地区センター、自治会館・町内会館などの場所で行われているボランティア活動やサークル活動などに関して、地域にはこのような活動があるということをお互いに知り、つながることができるよう、さまざまな活動の一覧表や行事・イベントの予定表、地域活動が行われているマップを作成します。さらにさまざまな団体のつながりで可能になる活動を、実現していきます。 サロン(地域住民の居場所)づくりを検討します。
つなぐ	情報	幅広い世代の方々に、地域活動に関心を持っていただけるような情報発信をすすめます。	地域の団体(自治会町内会・地区社協・地区民児協など)を通して、活動一覧、行事・イベント予定表、活動のマップを、地域の方々にとどけます。活動の様子や、参加した人の声もとどけます。綱島地区をテーマに開設されているホームページなども利用します。
	早期発見	地域で福祉保健サービスが必要な人を早く見つけ、的確に対応できるまちをつくります。	災害時要援護者支援の取り組み及び上記の情報活動とともに、子育てに悩む方や介護の必要な方を見つけたときには、地域ケアプラザや関係機関に連絡します。

◆ 網島地区活動一覧

主な担い手	子ども	成人	高齢者	障がい児・者
区役所	赤ちゃん会 子育て支援者相談会 パパ教室 離乳食教室			
網島地区連合自治会 網島地区 社会福祉協議会	神明社桃花祭 網島弁財天例大祭 諏訪神社祭礼 グランドゴルフ大会(※) 網島地区センター文化祭 鶴見川河川敷環境整備「菜の花」 網島第九演奏会	網島盆踊り大会 網島スポーツフェスティバル(※)		
※: 青少年指導員・スポーツ推進委員協働	網島少年すもう大会(※) 防災訓練(3小学校) わんぱくお化け大会(地区センター共催)		敬老会	
網島地域福祉保健計画推進協議会			地域防災支援活動	
単位自治会	子ども会 <例: 網島東親和自治会> 焼き芋大会 さつま芋の苗植え 三世代スポーツ大会 ジャガイモ掘り ラジオ体操 <例: 北網島自治会> 北網子ども会 春休み子供大会		老人会 <例: 網島東親和自治会> 新年会 体操会 地域の交流 クラブ活動	
民生委員児童委員協議会	すくすくハウス(網島東親和自治会館、網島中町自治会館) おしゃべりサロン(網島西5丁目にある喫茶店)			
家庭防災員	災害時要援護者への取り組み(民児協と協働)			
青少年指導員・スポーツ推進委員	ペットボトルロケット大会 社会環境実態調査			ふれあって北網島(もちつき)
保健活動推進員	商店など禁煙運動			ミニデイ花しょうぶ(樽町ケアプラザ会場)
商店街	網島フェスタ ナイトフリーマーケット			
樽町地域ケアプラザ	パパと一緒に遊びましょう		体操教室(自治会館) 介護者交流会	
網島地区センター	ゼロ歳児教室 幼児教室 親子体操教室 地区センター宿泊体験(小4以上) プリザーブドフラワー教室 つなしま絵本読み聞かせの会 夏休みバトミントン教室 わんぱく子供達交流お化け大会(共催事業) おもちの病院	中高年体操教室 社交ダンス教室 PC教室 など 多数	シニア&ミドル いざみ会 フィットピア PC教室	手話体験教室
市民利用施設協会	ログハウス「モッキー」			
ボランティアグループ・サークルなど	花いっぱい Tunashima 網島東ギネス認定委員会 バリケン島プロジェクト			
	網島東地区赤ちゃん会(中町自治会館) 子育てサークル「きりんさんクラブ」(上町自治会館) 網島西地区赤ちゃん会(上町自治会館・地区センター) 子育てサークル育ち愛・子育てサークルレインボークラブ(親和会自治会館) 子育てサークルプチ TAMAGO・ふしぎな TAMAGO(公園やケアプラザ) ふしぎな HIYOKO 公園遊びの会わくわく(プレイパーク) 公園遊びボランティア風の子(網島東2丁目公園・西6丁目公園) 赤ちゃんとママのためのコンサート(北網島特別支援学校) 網島東シャークス(網島東小児童を中心に活動するソフトボールチーム) ミニ水族館(TR ネット)		網島東ボランティアグループ 網島西ボランティアグループ シニア SOHO 港北 網島つくしの会(上町自治会館・日吉本町地域ケアプラザなど) シルバー体操(網島地区センター)	【知的・精神】 ミニ樽サロン(樽町ケアプラザ会場) 【中途】 港北あゆみ会
学校	ふれあって北網島(北網島特別支援学校)			
	学校開放 遊びの教室 地域防災拠点防災訓練 視聴覚室でボランティア活動(北網島小)			
福祉施設 その他	網島公園移動動物園 遊びの教室 子どもの交流会(以上、尚花愛児園主催) 網島学童保育所 きたつな学童クラブ つなしまみらい広場「ひかり」(学童保育)			障害者地域活動支援センター 「四季菜館」 中途障害者地域活動センター 「港北根っこの会」

◆ 計画の進め方

計画推進委員会は、網島地区の 22 団体から選出した 39 名の委員により構成され、3つの部会にわかれて計画の推進をしています。計画推進委員会において、毎年の振り返りを行います。

『ハートフル大曾根』ってなに？

『誰もが安心して暮ら
んでいます。それを港

H18年	H19年	H20年	H21年	H22年
------	------	------	------	------

ふれあいオール大曾根（第1期大曾根地区福祉保健推進事業計画）

7年前の暑い夏、体育館での地区懇談会
とヒアリング調査から大曾根地区地域福
祉保健計画は始まりました。

第2期計画の策定

【ハートフル大曾根の目指していく姿】

ひ
ろがる

- ・**理解**—ニーズにあった情報が得られる。
- ・**担い手**—新しい担い手が地域活動に参加する。

つ
ながる

- ・**知る**—各団体の情報を知ることができる。団体間が交流することにより連携がとれる。

と
どく

- ・**情報**—町内会広報紙により情報が届く。
- ・**早期発見**—見守りや支援が必要な人の把握が町内ごとにてきている

『あせる町港北』を基本理念に、地域のネットワーク力で身近な福祉保健計画に取り組
港北区は『ひっとプラン港北』、大曽根地区は『ハートフル大曽根』と名付けました。

H23年

H24年

H25年

H26年

H27年

ハートフル大曽根（第2期大曽根地区福祉保健推進事業計画）

【平成24年度のハートフル大曽根の取り組み】

《ひろがる》

- ・講演会の開催

障がい者理解のための講演会を開催。

《つながる》

- ・『イベントカレンダー』の発行

団体間の情報を知り、交流・連携ができる。

活用が出来るように発行部数及び配布方法を検討。

《とどく》

- ・『あんしんカード』の配布を継続的に推進

前年度配布時のアンケート集計を参考に、カードを配布。

- ・非常時の情報を素早く把握できるよう、あんしんカード
家族版の作成を検討。

- ・『ザ・ニュース大曽根』の発行

月1回（1月号は休刊）発行、回覧

- ・大曽根会館に情報発信のためのボードを設置。

【平成23年度ハートフル大曾根の振り返り】

1. 携帯型『あんしんカード』を作成、配布

非常時に情報を素早く伝えるための携帯型『あんしんカード』を作成しました。配布は町会ごとに対応しました。

あんしんカード		港北区大曾根自治連合会 町会名	
〔ふりがな〕			
氏名			
	大正・昭和・平成	年生	
住所	横浜市港北区大曾根		
電話			
主治医	病院	先生	

緊急連絡先			
〔ふりがな〕			関係
氏名			
電話		携帯	
〔ふりがな〕			関係
氏名			
電話		携帯	
伝えておきたいこと			

2. 『イベントカレンダー（下半期）』を作成、回覧

大曾根地区の公認団体及びボランティアグループの予定をお知らせしました。

3. 『ザ・ニュース大曾根』の発行（年11回、回覧）

大曾根地区の情報をお届けしました。

4. 防災・防犯講演会の開催（2回）

あんしんカード配布についてのアンケートからご意見を抜粋

- ・主旨を話すと皆賛同してくれた。・年配の方、ひとり暮らしの方は必要
- ・心臓病の方で外出時に苦しくなった経験があり、必要とのこと。
- ・お子さんに持たせたいとのご意見が多くありましたが、持たせたくない
とのご意見もありました。

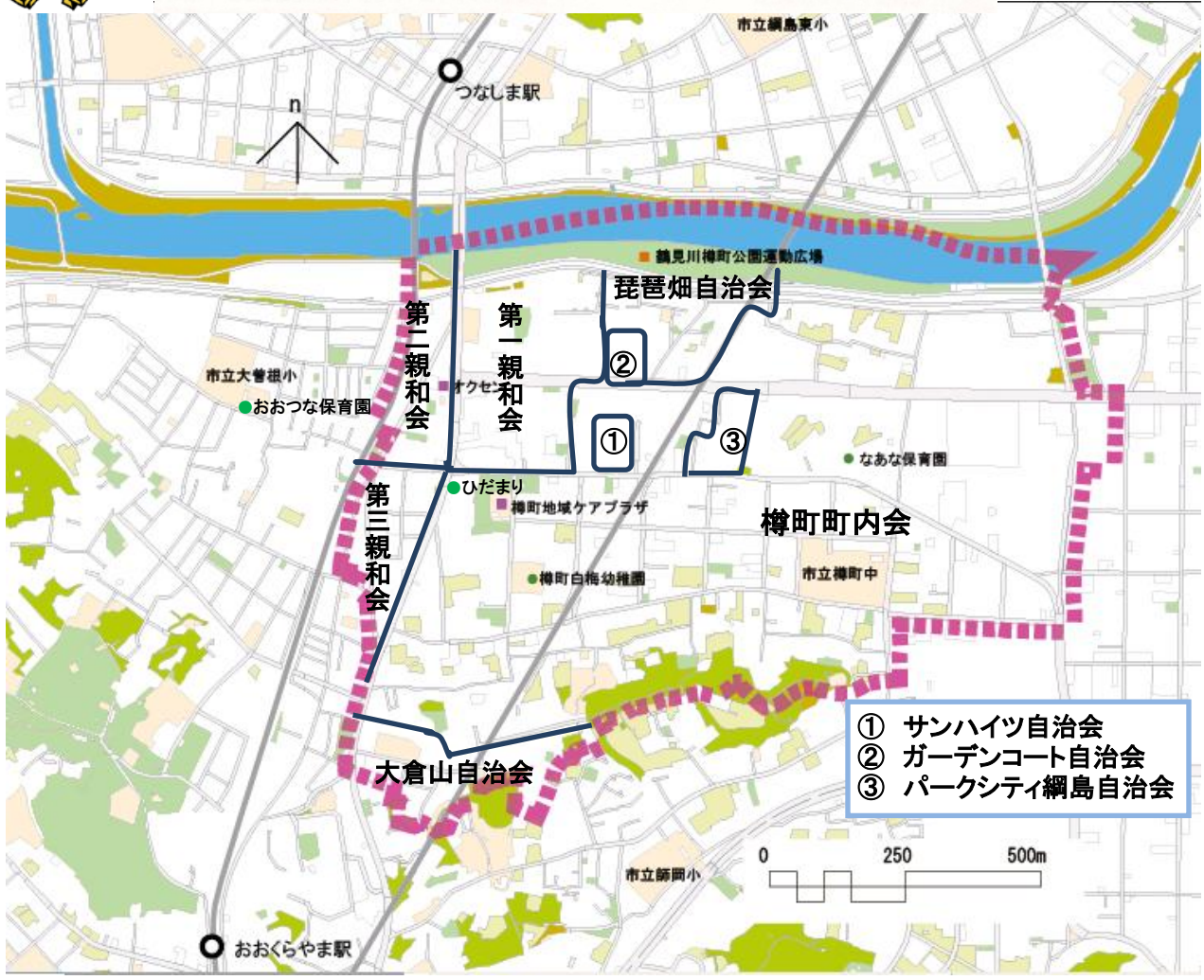
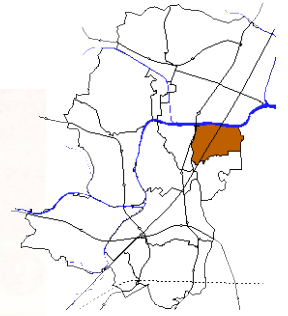
【ハートフル大曾根構成メンバー13名】（選出母体）代表：連合会長、町会長2名、ボランティアグループ1名、地区社会福祉協議会1名、民生委員児童委員協議会3名、青少年指導員会1名、スポーツ推進委員会1名、保健活動推進委員会1名、大曾根小PTA会長1名、セサミ香房1名

【サポートスタッフ】港北区役所、港北区社会福祉協議会、樽町地域ケアプラザ

思いあいのまち 樽町



思いあい



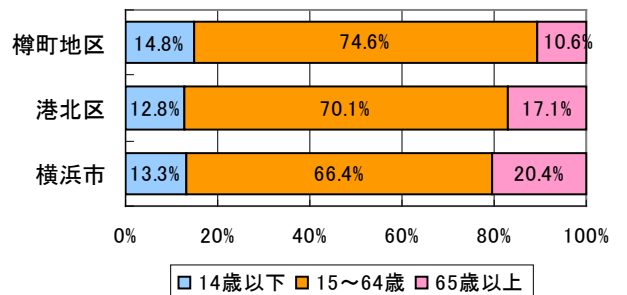
* 横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
 * 横浜市地形図複製承認番号 平 24 建都計第 9006 号

◆樽町地区の人口

1年間で936人、406世帯増えました。

年度	人口				世帯数	平均世帯人数
	男	女	総数	増減率		
24年3月末	7,489	7,122	14,611	6.8%	6,936	2.11
23年3月末	7,004	6,671	13,675	3.7%	6,532	2.09
22年3月末	6,766	6,427	13,193	0.1%	6,329	2.08

年齢3区分別人口構成(平成24年3月末)



◆わたしたちのまちの特色

樽町地区は鶴見川沿いの平坦な地区で、緑に恵まれています。綱島駅・大倉山駅まで徒歩圏で、大型店舗や病院などもあり、生活に便利なまちです。現在もマンション建設が進んでおり、子育て中の若い世代が増えています。

樽町地域ケアプラザと樽町中学校が、コミュニティや防災などの中核となっていますが、小学校はありません。

◆これまでの頑張り

樽町地区の第1期地域福祉保健計画では、顔の見える関係作りを目指したイベントとして、「樽町ふれあいのつどい」を開催し、地域の方に感謝の気持ちを直接伝える「ありがとうステージ」を行ってきました。他にも、「樽町歩こう会」や福祉講座、福祉見学会なども開催してきました。

樽町地域ケアプラザでは「ちびたる」「赤ちゃん会」「みんなのたまり場」といった子育て活動や、精神保健サロン「ミニ樽サロン」、高齢者給食会「わかば会」、高齢者ミニデイサロン「花しょうぶ」、落語と歌の「地元樽町志隆の会」、介護予防体操、介護者セミナー・交流会などが毎月行われています。高齢者の安否確認をかねた配食も行っています。

さらに、樽町連合町内会と樽地区社協が中心になって、また自治会町内会を単位として、子どもから高齢者まで楽しく快適に暮らすまちづくりに取り組んでおります。たとえば、ペタンク大会やグラウンドゴルフ大会、盆踊り、杉山神社祭礼、防犯パトロール、ふれあいのつどい、そして歩こう会などが開催されておりますし、各自治会町内会も独自に、もちつきやカラオケ、ボーリング大会、そして一斉清掃などのイベントを行っています。樽町地区では、青少年指導員とスポーツ推進委員が協力して、これらのスポーツ大会、独自にはペットボトルロケット製作講習、その他さまざまなレクリエーション行事の指導・支援にあたっています。

特に樽町地区では、樽町中学校において、毎年1回、樽町中学校の先生や生徒とともに、樽町連合町内会の各自治会町内会と樽地区社協が合同で、樽地区の合同防災訓練を行っています。

◆これから目指していく姿

樽町では大型マンションの建設が現在も進んでおり、新しい、若い世代の方々の地域活動への理解と参加・協力を広げる取り組みを行います。「樽町ふれあいのつどい」をはじめとする様々な活動に関心をもっていただけるような情報をとどけると同時に、参加と協力を広く呼びかけていきます。

そして、自治会町内会や各団体主催のイベントのお知らせ、情報発信として「樽町 思いあいイベントカレンダー」を発行していきます。さまざまな人が日ごろから気軽に顔の見える関係をつくる場と機会になるように“思いあい”の輪づくりをすすめます。そして日ごろの“思いあい”の輪を、子どもや高齢者、障がい児・者の見守りへと広がっていきます。こうした取り組みを通して、住む人に自分の「ふるさと」、と愛着を持たれる樽町に育てていきます。

樽町ふれあいのつどい



イベントカレンダー「思いあい」



ちびたる



◆わたしたちのまちの取り組み

キーワード		取 り 組 み	
		目 標	具 体 策
つながる	理解	<p>“思いあい”のスローガンのもと、さまざまな地域活動への理解と関心を広げ、参加と協力を呼びかけていきます。</p> <p>自治会町内会・地区社協・ケアプラザ・小中学校・ボランティア・サークル団体の相互の理解を深め、地域福祉やまちづくり、子育てなどについて一緒に考える機会をつくります。</p>	<p>これまで行ってきた「樽町ふれあいのつどい」や「樽町歩こう会」といった、地域交流や福祉イベントの内容をさらに工夫し、協働する団体を広げていきます。</p> <p>小中学校の PTA・校外委員と、自治会町内会・地区社協・地区民児協などの話し合いの場をふやしていきます。</p> <p>ボランティアネットワークたるが中心となり、地域住民に対して、障がい児・者への理解を深めるための、話し合いの機会をつくります。</p>
	担い手	<p>行事・イベントなどをきっかけに、様々な地域活動の担い手発掘・育成をすすめ、地域参加のすそ野を広げていき、みなで思いあう樽町をつくっていきます。</p>	<p>地域活動に参加・協力された人の「楽しかった」といった声を紹介し、担い手参加を呼びかけるチラシなどを配ります。「樽町イベントカレンダー」や「樽町マップ」などにも、担い手参加の呼びかけを記入します。</p>
つながる	知る	<p>地域福祉やまちづくりに携わる人々が、お互いの活動を知り、重なっているところや、一緒にやるとさらなる発展の期待できるところは一緒にやるといった、調整をすすめます。</p>	<p>地域のさまざまな活動を一覧できる、「樽町イベントカレンダー」・「樽町マップ」づくりをはじめます。カレンダーやマップを一緒につくる中で、樽町地区で行われている様々な活動をどう結び付けていくかについての話し合いを行います。</p>
	居場所	<p>幅広い世代が、日ごろから気軽に顔の見える関係をつくることのできる、居場所をつくっていきます。</p>	<p>マンションの集会所などを利用して、サロンを開催します。また、集会所などで、ケアプラザで行われている子育て・介護予防などの活動をふやしていきます。</p>
	活動	<p>子どもと地域の大人、特に高齢者との顔の見える関係づくりをすすめます。顔の見えるつながりが、子どもの教育や高齢者のいきがい、防犯・防災にもつながります。</p>	<p>公園での体操や公園清掃・植栽(植育)など、高齢者と子どもが一緒に活動する機会と場をつくります。さらに、連合町内会の行事・イベントなどへの、幅広い年齢層の参加をすすめます。</p>
つなぐ	情報	<p>これまでの広報紙(地区社協『ふくしだより』など)・回覧物などと併せて、地域情報のとどきにくい方々に情報を提供します。</p> <p>インターネットを用いる情報提供の可能性を考えていきます。</p>	<p>マンションの管理組合や自治会を通した、チラシ・掲示板・ポスターなどによる情報提供をすすめます。特に写真や絵、大きい字を使い、高齢者などにも関心をもっていただけるものとします。</p> <p>行事・イベントなどの参加者に、どのようにして情報をえたかのアンケートを行い、情報活動のふりかえりをすすめていきます。</p>
	早期発見	<p>顔の見える関係づくりの中で、見守りの必要な人を早期に発見します。災害時の要援護者対策にもつなげていきます。</p>	<p>「樽町イベントカレンダー」や「樽町マップ」などの中に、なにか困ったことがあったときや、困っている人を見つけたときの相談窓口・連絡先を記入しておき、早期発見につながります。</p>

◆樽町地区活動一覧

主催	活動			
	子ども・子育て	高齢者・介護・介護予防	障がい児・者	
樽町地区 地域福祉保健計画 推進部会	<ul style="list-style-type: none"> 樽町歩こう会 樽町ふれあいのつどい 樽町イベントカレンダー「思いあい」の発行 			
樽町連合町内会	<ul style="list-style-type: none"> 一斉防犯パトロール(月2回) 樽町体育祭(隔年) 春季ベタンク大会 秋季グラウンドゴルフ大会 杉山神社祭礼 ふるさと港北ふれあい祭り 防災訓練(樽中合同) 			
単位自治会	大倉山自治会	<ul style="list-style-type: none"> 住宅周辺除草(年2回) 自治会フェスティバル 防災訓練 防犯パトロール(自治会内、毎月2回) 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会(新入生歓迎会・ボーリング大会・お楽しみ会・6年生を送る会) 	<ul style="list-style-type: none"> 敬老の日お祝い 親友会(老人会)レクリエーション(月2回)
	第一親和会	<ul style="list-style-type: none"> 第一新年会 第一婦人部ゴキブリ団子作り 第一グラウンドゴルフ大会 美化活動 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会(夏休み工作教室・ハロウィン・ビンゴ大会・ラジオ体操) 	
	第二親和会	<ul style="list-style-type: none"> 新年会 餅つき大会 		
	第三親和会	<ul style="list-style-type: none"> 新年会 餅つき大会 防災訓練 有志バス旅行 		
	琵琶畑自治会	<ul style="list-style-type: none"> 定期清掃(毎月第4日曜日) バス旅行 		
	ガーデンコート自治会	<ul style="list-style-type: none"> ベタンク・グラウンドゴルフ練習会 ガーデンコートまつり 植栽会 消防・防災訓練 クリスマスデコレーション会 ボーリング大会 ケーキ作り講習会 	<ul style="list-style-type: none"> ガーデンキッズ(子ども会) ラジオ体操 クリスマスデコレーション会 	<ul style="list-style-type: none"> ひだまり会(敬老会) お花見会 植栽会 敬老の日お祝い会 観梅会
	サンハイツ自治会	<ul style="list-style-type: none"> エコキャブ運動 打ち水会 防災用品点検 		
	パークシティ 網島自治会	<ul style="list-style-type: none"> 卓球・グラウンドゴルフサークル ゴルフコンペ 花プランター 防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ミニ図書館 	
樽町町内会	<ul style="list-style-type: none"> 町内一斉清掃(年2回) 樽町地区防災訓練 杉山神社祭礼 		<ul style="list-style-type: none"> 敬老会 千寿会(老人会)カラオケ等(月1回) 	
青少年指導員 スポーツ推進委員 子ども会	<ul style="list-style-type: none"> 港北区ベタンク大会 港北駅伝大会 港北区民マラソン さわやかスポーツ 	<ul style="list-style-type: none"> 盆踊り大会 春の交流会 ペットボトルロケット講習会 ラジオ体操 子ども会餅つき大会 6年生を送る会 		
保健活動推進員			<ul style="list-style-type: none"> ふれあい広場花しょうぶ(高齢者ミニイサロン:月1回) 	
樽地区社協 (樽町ケアプラザにて)	<ul style="list-style-type: none"> 福祉講座(年2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ちびたる(月2回) びよびよ(月1回) 	<ul style="list-style-type: none"> わかば会(高齢者給食・配食:月1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ミニ樽サロン(精神保健サロン:月1回) たるとも(放課後サークル:月1回) ボランティアネットワークたる
樽町地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> 学生ボランティア受け入れ 園芸講座(春夏・秋冬編) キララまつり(開所10周年事業) 	<ul style="list-style-type: none"> みんなのたまり場(月1回) パパと一緒に遊びましょう(不定期) 赤ちゃん会(月1回) 子育て支援者相談会(毎火曜日) 離乳食教室(年6回偶数月) 	<ul style="list-style-type: none"> 囲碁将棋サロン(月1回) 体力向上プログラム(年2コース:地域の自治会館等にて) 介護者交流会(月1回) 	<ul style="list-style-type: none"> こうほくなつとも(学齢障害児余暇活動:8月)
自主グループ (樽町ケアプラザにて)	<ul style="list-style-type: none"> 地元樽町志隆の会(歌と落語:月1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ミニミニツインズ(不定期) その他の子育てサークル 	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防体操サークル(すみれのびのび体操・さわやか・はなみずきの会) 	<ul style="list-style-type: none"> PCてまりの会(中途障害者パソコンサークル:月2回)
たるびよ		<ul style="list-style-type: none"> 親と子のつどいのひろば「ひだまり」(月・火・木・金) 		

◆ふり返りの仕方

計画推進員会をほぼ毎月開催し、「ふり回り」等を含めた確認作業を行っています。

「ひっとプラン港北」 菊名地区 (24年度)

みんなであえあう まちづくり

ひろがる } 港北区地域福祉保健計画
つながる } 「ひっとプラン」
とどく } 菊名地区計画
推進委員会

大豆戸



大豆戸小児童といすみ会の交流



障がい理解を進める研修



1歳・2歳・3歳児の会



篠原北



表谷交流サロン

菊名北町



高齢者福祉 110番



菊名地区敬老会

知っておきたい
わがまちの
取り組みはこちら

◆わたしたちのまちの特色

- ・菊名地区は交通の利便性が比較的よく、公的施設、医療機関、商業施設も多く区内でも早くから開発された地域です。人口は約 42,000 人で、高齢人口が年少人口よりやや多くなっています。高齢化が進んでいる一方で新築マンションが建ち、転入者の多い地域でもあります。
- ・新横浜、大豆戸町などは比較的平坦な地形ですが、篠原北、錦が丘や菊名の一部などは山坂が多い地形となっています。このように、特徴の異なる地域がまとまって1つの地区を形成しており、抱えている課題が地域ごとに異なる面も見られます。

◆これまでの頑張り

- ・菊名地区は第一期地域福祉保健計画（平成18年—22年度）でさまざまな取り組みを立ち上げ、成果をあげてきました。

- ・**支えあい連絡協議会**では、菊名駅バリアフリー化の実現、高齢者や小学生の見守り活動、障がい者の会やその支援団体などによるバザー「らくらく市」への参加、「生活安全安心メモ」の作成、また高齢者支援のためのアンケート調査、交通弱者のための階段・坂道など歩行困難道路の調査などを行ってきました。



らくらく市

- ・**菊名地区社会福祉協議会**では、民児協による一人暮らしの高齢者を対象とした昼食会や子育てサロン等の活動、地域ケアプラザを中心とした子育てフリースペース、高齢者の介護予防サロン、障がい者等との交流事業やボランティア講座など様々に取り組んできました。



公園遊び「ぴょんぴょん」

- ・**地域**では、相乗りタクシー、お出かけバス、打ち水大作戦、七夕、ハロウィン等、地域や参加対象も多様な自主的な活動が活発に行われてきました。

◆これから目指していく姿

- ・第二期地域福祉保健計画（平成23年—27年度）は、行政、区社会福祉協議会、各種団体、地域住民（町内会）が一体となって地域の福祉計画を策定し実現化するプログラムです。菊名地区は住環境の特性ごとに**菊名北町**、**大豆戸**、**篠原北**の三地区別に福祉計画を立案し、三地区の「**ひっとプラン**」を策定しました。
- ・**菊名北町**は高齢者福祉110番のステッカーを設置し高齢者を地域で見守り住民同士の連帯、安心感を目指します。
大豆戸地区は障がいのある子供とその家族について理解を深める取り組みを計画し地域での見守り、交流を進める地域作りを目指します。
篠原北地区は高齢者が安全、安心して生活出来る町を実現するための環境づくりをすすめます。

◆わたしたちのまちの取り組み [3地区別]

		取 り 組 み【ひろがる つながる とどく】	
		目 標	具 体 策
ひろがる	菊名北町	みんなで支えあう町づくりを目指し地域の高齢者が安心感と連帯感を共有できる地域づくり	高齢者福祉110番のステッカーを作成し、地域内賛同者宅に設置及び冊子の作成配布等をすすめます
	大豆戸	みんなで支えあう町づくりを目指し障がいのある子供とその家族について地域での見守りをすすめるため、障がい者への理解を深める取り組みを行います	発達障がい児・家族と支援者の講演受講や地域の障がい児関係の専門家の話を聴く会を実施。今後は地域の方々も参加出来るような機会をもてるような計画を検討します
	篠原北	みんなで支えあう町づくりを目指し、安心・安全な町を実現するための環境づくりをすすめます	高齢者が安心して出かけられるよう、坂道の多い地域を中心に、休憩できるベンチ等を設置することを計画中です
つながる	菊名北町	町内会、民児協、大豆戸CP、区社協等高齢者への取り組みに関する情報の共有化を図ります	防犯パトロールや家庭防災員、老人クラブ等隣近所への声かけ運動の実施、民生委員の定期訪問を継続して進めます
	大豆戸	障がいのある子供と日常密接に関わっている、地域の福祉関係施設などと連携して、障がいのある子供や家族との交流が出来るような活動への取り組みをすすめます	地域ケアプラザ、地域活動ホームや障がい者福祉施設の協力を得て、障がい者・家族のために外出サポートなどの地域での支援、協力の仕組みづくりを検討します
	篠原北	一人暮らしの高齢者や災害時要援護者の見守りが出来る地域を目指します	錦が丘町内会で、23年度より災害時要援護者支援の取り組みをすすめています
とどく	菊名北町	一人暮らしの高齢者や災害時要援護者の見守り活動及び行政と協力し高齢者の安否確認への取り組みを行います	地域で高齢者が困った時に気軽に相談出来る家を、ステッカー等で表示する高齢者福祉110番の仕組みをつくります
	大豆戸	区社協、地域ケアプラザ等と情報を共有し、障がいのある子供と家族へ地域の取り組みなどの情報を届け、地域との交流の機会をつくります	地域の諸行事や、イベント等への障がい児・家族の参加等を応援して地域との交流の機会をつくり、障がい児・家族の地域での見守りのきっかけにします
	篠原北	一人暮らし高齢者の孤立化と引きこもり防止対策として、サロンを活動拠点としたたまり場の交流と助けあいの活動を進めて、見守りネットワークに役立てます	サロン施設を活動拠点にしたたまり場の交流を通じて、孤立化・引きこもり防止に役立てるとともに、地域住民から助けあいの担い手を集めて住民ニーズと公的サービスのすき間を市民力で埋め、見守りネットワーク区域を順次拡げます

みんなであうまちづくり

菊名地区

町内会加入世帯数
13,668 世帯
(H23.9.1 現在)

菊名北町

- ◆菊名北町町内会(菊名3丁目の一部、4・5・6丁目、7丁目の一部)
- ◆大倉山喜久和会(菊名7丁目の一部、大豆戸町1040~1042)

高齢者福祉110番

高齢者が安心感と連帯感を共有できる地域

- ◆大豆戸町内会(大豆戸町※一部を除く)
- ◆大倉山ハイム町内会(大倉山ハイム)
- ◆新横浜町内会・新横浜自治会(新横浜1丁目※アデニウム新横浜以外、2・3丁目)
- ◆アデニウム新横浜自治会

障がい者を理解しよう

障がい児とその家族を見守り、理解、交流を深める

大豆戸

篠原北

- ◆錦が丘町内会(錦が丘、富士塚2丁目の一部)
- ◆表谷町内会(篠原北1丁目の一部、2丁目、篠原町の一部)
- ◆泉ヶ丘町内会(篠原北1丁目の一部)
- ◆ふじ町内会(富士塚2丁目の一部)

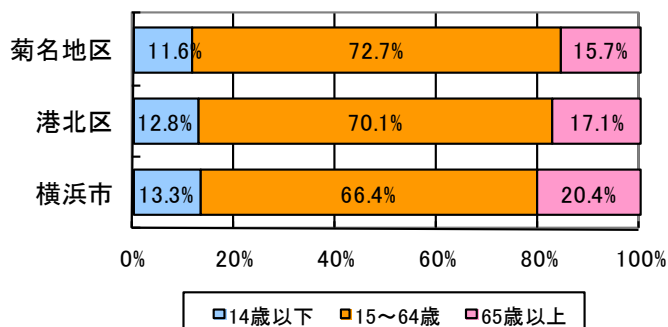
高齢者が安全、安心な地域を実現するための環境づくり

世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
菊名地区	21,813	41,641	1.91
港北区	158,507	327,279	2.06
横浜市	1,594,871	3,702,388	2.17

*平成24年3月末現在

年齢3区分別人口構成



わが町師岡

— 安全・安心・住みよい町づくり —



もろおかちょう



* 横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
* 横浜市地形図複製承認番号 平24建都計第9006号

1 師岡地区の世帯数と人口（平成24年3月末現在）

	世帯数	人口	平均世帯人員
師岡地区	4,571	10,083	2.21
港北区	159,058	328,013	2.06

2 わたしたちのまちの特色

- ・環状2号線をはさんだ4つの地区の町内会（打越、南、仲、表谷）で連合町内会を形成し、連合町内会と地区社会福祉協議会が一体となって「師岡地区ネットワーク」を形成しています。
- ・港北区役所や消防署、港北公会堂にも近く色々便利です。また近年では大型商業施設トレッサ横浜によって活気を増しています。
- ・年少人口率14.2%、高齢化率17.1%と、人口構成は比較的バランスがとれていますが、子どもの数は横ばい、高齢者は確実に増加しています。
- ・最近では、丘陵部でのマンション開発が進み、新住民が増えています。

3 これまでの頑張り

- ・師岡地区ではさまざまな団体や事業部門がそれぞれ活発に活動しています。
- ・今までに「災害時要援護者支援事業」に取り組み、その事業を通じて「わが町師岡マップ」を作成、全戸配布を行ってきました。マップには災害時の「いっつき避難場所」「防災拠点」も明示されています。
- ・平成23年度に防災訓練の見直しをし、内容や防災備蓄庫のあり方を検討しました。また、トレッサ横浜との協定を行い町民の安全・安心をはかっています。
- ・子育て中のお母さんとお子様やお年寄りを対象に、少しでも子育ての苦労を癒すことができると活動しています。また、お年寄りの介護の助けになればと思っています。
- ・民生委員の主催で、“認知症や寝たきりを予防し豊かに暮らそう”を目的に、転ばない、骨折しない為の「いきいき体操」を毎月2回（第1・第3月曜日）行い、大勢の皆さんが参加しています。



トレッサ横浜での防災訓練



ひまわりコンサート

4 これから目指していく姿

師岡地区連合町内会と地区社会福祉協議会が発足して20年を迎えました、発足時に2,650世帯だった町内会員世帯数は、約1千世帯（37%）も増加し、3,650世帯になりました。若く新しい住民パワーが育ってきており、新・旧住民の地域のコミュニティーがますます重要です。

地域福祉保健活動の推進として「ひっとプラン港北」の2期目に取り組んでいますが、まだまだ「ひろがる・つながる・とどく」活動が足りないのではと思います。師岡地区の出生率は横浜市でも高率であり、これまでの高齢者福祉とともに子育て世帯の支援にも力をいれていきたいと思っています。



いきいき体操

5 わたしたちのまちの取組

以下は、今年度で開催された検討の場において出された意見を整理したものです。今後とも、取組の進捗に応じて、さらなる展開策や新しい方策を充実させていきます。

キーワード		取 組	
		目 標	具 体 策
ひろがる	理解	<ul style="list-style-type: none"> ● 連合町内会・地区社会福祉協議会の活動内容を地域住民に周知し、参加を促します。 ● 高齢化社会への理解を広げます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 連町、地区社協の活動を知らせるため、イベントカレンダーを発行します。 ● 認知症に関する講座や介護予防教室などを増やします。
	担い手	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動に参加する住民を増やします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 縁日、盆踊り、運動会、防災訓練等の場をとらえ、担い手の発掘を継続します。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全・安心のまちづくりを目指し環境を充実します。 ● 福祉の街づくりを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 掲示板側面への消火器設置をさらに進めます。 ● 防犯パトロールのさらなる充実を図ります。 ● 住民同士が互いに助け合えるしくみを検討します。 ● 生活道路、通学路など歩行者の安全対策として、道路の拡幅および道路標識の整備を行政機関と一緒に進め、安全安心の町づくり推進を図ります。
つながる	知る	<ul style="list-style-type: none"> ● 連合町内会や地区社協の催しや活動内容を効果的に伝えていきます。 ● 「社協」とは何かを周知します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 師岡地区のホームページ立ち上げのため、スタッフを募集します。 ● 掲示板を活用する他、回覧板、広報紙を利用し、周知していきます。 ● 区社協で作成のリーフレットを使用し、地域住民に知らせていきます。
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民の集まる場所を確保し、住民の連携を深め、活動の充実を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 会館の利用申し込み方法をホームページから行うなど検討し、会館の利用率と利便性の向上を図ります。 ● 小学校やコミュニティーハウスについて、住民が使いやすくなる仕組みを検討します。
とどく	情報	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時に援護を必要とする人を把握するとともに、いっとき避難場所の機能の充実を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災アンケートを行い、現状のニーズを把握します。 ● いっとき避難場所の機能の充実を図ります。（場所、備蓄品、役割分担） ● トレッサ横浜との防災協定について、その内容を引き続き協議します。
	発見期		<ul style="list-style-type: none"> ● 要援護者に対し町内会と連携し、きめ細かく訪問活動などを継続して行きます。

6 推進委員のメンバー

師岡地区連合町内会

師岡地区社会福祉協議会

師岡地区ネットワーク

私達の町には、団体・企業・学校等、さまざまなグループがあり、地域活動を支援しています。なかでも、師岡地区連合町内会では、21の事業部が地域活動を行っています。

ここで師岡地区のネットワークとしてご紹介します。皆さんと「協働」して、「住み良い町づくり」に参加してみませんか？

民生委員児童委員

地域の情報を適切に把握し、相談に応じ、サービスの情報提供をしています。

老人クラブ

ゲートボール・グランドゴルフ・囲碁将棋・俳句・カラオケ・旅行等を行い、健康・友愛・奉仕の目標に向い努めています。

女性部

お互いの親睦を図りつつ教養を高める事を目的に活動しています。施設見学会、新年会、講習会、講演会等行っています。

青少年指導部

「青少年の健全育成」を願い、ペットボトルロケット大会、ボーリング大会、ふれあいコンサート、自然体験教室、一声かけ運動等を行っています。

ジュニアーズ

環境事業推進部

「G30のその先へ～ヨコハマ3R夢！」をスタート。限りある資源を大切に使い、脱温暖化に向け取り組んでいます。

ひまわり

「サロン・月曜会」では四季折々の行事を取り入れ、三世代交流をはかります。他にもバザー、講習会等行っています。

交通防犯指導部

交通安全の日、交通マナーの向上・地域の交通事故防止のため、交差点での交通整理を実施しています。

ミニバスケットボール部

剣道部

消費生活推進部

エコ活動、詐欺防止活動等、区役所や警察署と協力し、行っています。

ソフトボール部

スポーツ推進部

町民のスポーツの実技指導や助言を行い、楽しさを伝えたり、より良い環境づくりに努めています。もちつき大会、グランドゴルフ大会、ペタンク等を行っています。

消防団

「小型ポンプ操法大会」に参加する等、地域の防災のため備えています。

バレーボール部

テニス部

保健活動推進部

講師の指導を受けての「ウォーキング」活動を推進しています。

家庭防災部


地域における防災活動の担い手として、防災訓練等に協力しています。

子供会育成部


子どもたちが「明るく」「健全に」育まれる様、お楽しみ会を開催しています。連合町内会の各行事に参加、協力しています。

広報部

保護司


 樽町中学校
 師岡小学校
 はまっこふれあいスクール
 学童保育所
 ともだちの丘

師岡地区連合町内会
 打越町内会
 南町内会
 仲町内会
 表谷町内会
 師岡地区社会福祉協議会
 師岡地区福祉保健計画
 推進委員会


 トレッサ横浜
 コミュニティハウス

2 平成23年度の取り組み

私たちのまちでは、連合町会が主体で健民祭、各種スポーツ大会、シニアクラブ連合会・防犯・防災等の活動や、祭礼、盆踊り、少年少女相撲大会など種々交流事業が実施されています。

また、福祉保健の分野では太尾地区社会福祉協議会が主体で推進し、高齢者部会・青少年部会・子育て支援部会・地域健康部会・ボランティア部会・太尾ふれあいクラブ(高齢者家事援助)を運営し福祉・保健力の向上を推進しております。加えて平成18年以降には港北区地域福祉保健計画推進事業として下記の活動を順次立ち上げ継続して推進しています。

- ①地元を知ろう！太尾健康ウォーキング、②太尾支えあい祭り、
- ③災害時に備えた要援護者の見守り支えあいの仕組みづくり、④太尾ITサロン、
- ⑤大倉山便利マップの作成、⑥みんなの居場所の整備・活動推進、⑦大倉山夢まちづくり

平成23年度は、太尾地区社協の部会運営、並びに①～⑦の活動について広く意見を交換して下表のとおり重点組み事項を抽出し、活動を推進してきました。

キーワード	取 り 組 み		
	目 標	具 体 策	
つながる	理解	①多くの高齢者が人とふれあう機会を増やす。 ②高齢者の会食会(見守り)は、主に一人暮らしを対象にしていたが、対象範囲を拡げ、回数も増やすと共に行事の内容についても検討する。	・保健師や警察署員等の講座もあり、高齢者への周知や理解を拡げていく。 ・高齢者の自発的な提案を尊重して、活動内容を検討し実施する。
	担い手	①太尾ふれあいクラブの担い手(有償ボランティア)の増員をはかる。	・町会掲示板での募集・周知や、社協行事実施の都度会場で担い手募集を呼びかける。
	共通	①大倉山便利マップを見直し改訂するにあたって商店街の情報を追加して利便性を改善する。 ②「大倉山夢まちづくり」の活動を通じて地域の改善、安全・安心の住みよいまちづくりをめざす。	・マップ作成チームに「商店街や地域子育て支援拠点」等に加わってもらい全面改訂する。 ・オリーブ坂の改善、大倉山公園につながる坂のネーミングの公募、歩道の整備等。
つながる	知る	①地域住民のつながりとして、世代間の交流をはかる。 ②子育て支援・高齢者会合等で、新しい催しものを企画する。又マンネリにならないように検討していく。	・町の先生の情報や他地域での拠点の活動にアンテナを張り活動の幅を拡げる。 ・ゲスト(講師)選定も工夫し少しずつ幅を拡げていく。また行事の内容に新しい試みを加える。 ・高齢者部会と子育て部会のコラボを検討する。
	活動	①家事援助活動も設立から5年を経過している。依頼受付内容に偏りもあり、サービス内容の再検討をしていく。	・現在、どのようなサービスが求められているか、再度住民にアンケート調査し対応する。
	共通	①障がい者、障害者施設との連携を更に密にし、支援・協力を検討する。	・障害者施設への担い手の発掘。 ・防災訓練等における支援・協力を検討。
		①防犯拠点センターの「みんなの居場所」の機能を拡充し、地域のつながりを強化する。	・インターネット、ホームページの開設、研修会開催時等の設備拡充、AEDの設置など ・子育て支援拠点「どろっふ」等に拠点センターを貸し出し、又活動協力をして地域の活動活性化に協力する。
		①地域にある種々の拠点を巡回し、地域を再発見すると共に、住民間の交流を活発にする。	・「地元を知ろう！健康ウォーキング」を継続し、新旧住民などの相互交流の活性化をはかる。
①当地区では近年マンション建設が進み、新旧住民や世代を超えた相互交流が課題であり、防犯拠点センター、みんなの居場所を活用し解決していく。	・毎年定例的に地域全町会の協力を得て「太尾支えあい祭り」を実施し、子どもから高齢者、障がい者などが交流できる場をつくる。		
交流	情報	①高齢者は、外出で掲示板を見る機会も少ないので、行事に参加し易くするよう工夫する。 ①野外型のイベントに出席できない高齢者に、屋内での生きがいづくりになるサロン活動の実施を検討する。	・シニアクラブ連合会組織を通して周知する。 ・・・組織間の連携・協力 ・ITサロンを開き、生活に密着したパソコン利用術を習得し楽しんでいただく。(年賀状作成、インターネット、デジカメなどの利用方法等)
	早期発見	①災害時に備えた要援護者の見守り・支えあいの仕組みづくりをする。	・高齢者の環境に変化があった際の確認方法のルール化。定期的な訪問活動を企画し推進。
	共通	①防犯拠点センターでの介護相談や健康講座に、遠い地域の高齢者等にも参加しやすくする。	・防犯拠点センターから遠い地域については、その町内会館を利用して出張開催する。

3 平成 23 年度の振り返り

昨今、東日本大震災の発生をはじめ各地で大きな災害が発生しており、被災者の方々が助け合う姿を目の当たりにして、地域の絆の大切さを再認識させられました。

当地域が昨年度前項で取り上げた計画については、地域の皆様、地域のボランティアの皆様、地域の団体各位の暖かいご支援・ご協力によりその施策をほぼ達成することができました。

具体的な活動事例の幾つかを、次のとおり掲載させていただきます。



マフラーを指編みで(高齢者部会)



親子でリズム体操(子育て支援部会)



町内会館で健康体操(ボランティア部会)



草取り家事支援(太尾ふれあいクラブ)



太尾健康ウォーキング(拠点をスタート)



鶴見川土手をウォーキング



地下鉄 新羽車庫を見学(長距離コース)



港北警察署を見学(短距離コース)



ITサロン (パソコン教室)



防災キャラバン(防犯拠点センターにて)



港北区子育て支援拠点による「どろっぷデー」(防犯拠点センターにて)



支えあい祭り (子どもの木工教室)



支えあい祭り (折り紙、バルーン)



支えあい祭り (雨の中での餅つき)



支えあい祭り (焼きそば)

4 平成 24 年度の取り組み

更なる地域の太い絆づくり・より良い町づくりを目指して、今年度の活動の進め方について広く意見を交換し、今年追加する重点取り組み事項を次のとおりとしました。

- (1) 部会活動については、マンネリ化を防ぎ、住民のニーズにあった活動メニューを工夫する。
- (2) 地域の施設や団体との支援・協力関係を密にして連携を強化し、より良い活動を行う。
 - ・大倉山夢まちづくり：今年始めた「桜まつり」を発展、又次のテーマの策定を検討する。
 - ・港北区子育て支援拠点どろっぷ、保育園等との連携を密にし子育てを支援する。
 - ・障害者施設、障がい者に対する支援体制の検討。
 - ・ケアプラザ、土木事務所、資源循環局などとの共催事業により、地域環境の改善を検討。
- (3) 高齢者一人暮らしの方の見守りを推進する。
- (4) 虐待情報の把握と対応方法の改善を検討する。

推進委員の構成

- ・太尾地区連合町会
- ・太尾地区社会福祉協議会
- ・太尾地区民生委員児童委員協議会
- ・太尾地区支えあい連絡会

太尾地区 地域活動の概要

<太尾連合町会>

- ①. 健民祭
- ②. シニアクラブ連合
 - ・クラブ(8団体)毎の活動
敬老会、茶話会、お花見、健康体操等
 - ・グランドゴルフ
 - ・カラオケ大会
 - ・バス旅行
- ③. 防犯連絡協議会
 - ・子ども110番の家
 - ・防犯研修会
 - ・防犯マップづくり
 - ・防犯キャンペーン
 - ・青パトによる巡回
- ④. スポーツ推進委員協議会
 - ・ソフトボール大会
 - ・ソフトバレー大会
 - ・駅伝大会(走ろう会)
- ⑤. 青少年指導員協議会
 - ・ペットボトル大会
 - ・サマーデイキャンプ
 - ・防犯パトロール
- ⑥. 太尾神社例大祭
 - ・演芸、神輿、山車
- ⑦. 子どもと親の盆踊り
- ⑧. 太尾消防団活動
- ⑨. 大綱中、地域医療救護拠点
- ⑩. 大綱、太尾小地域防災拠点

<消費生活推進委員会>

- ・研修&エコ製品づくり、等

<保健活動推進委員会>

- ・介護予防、健康づくり等

<環境事業推進委員会>

<家庭防災員>

- ・その他活動(ボランティア活動を含む)

- ・太尾少年少女相撲大会

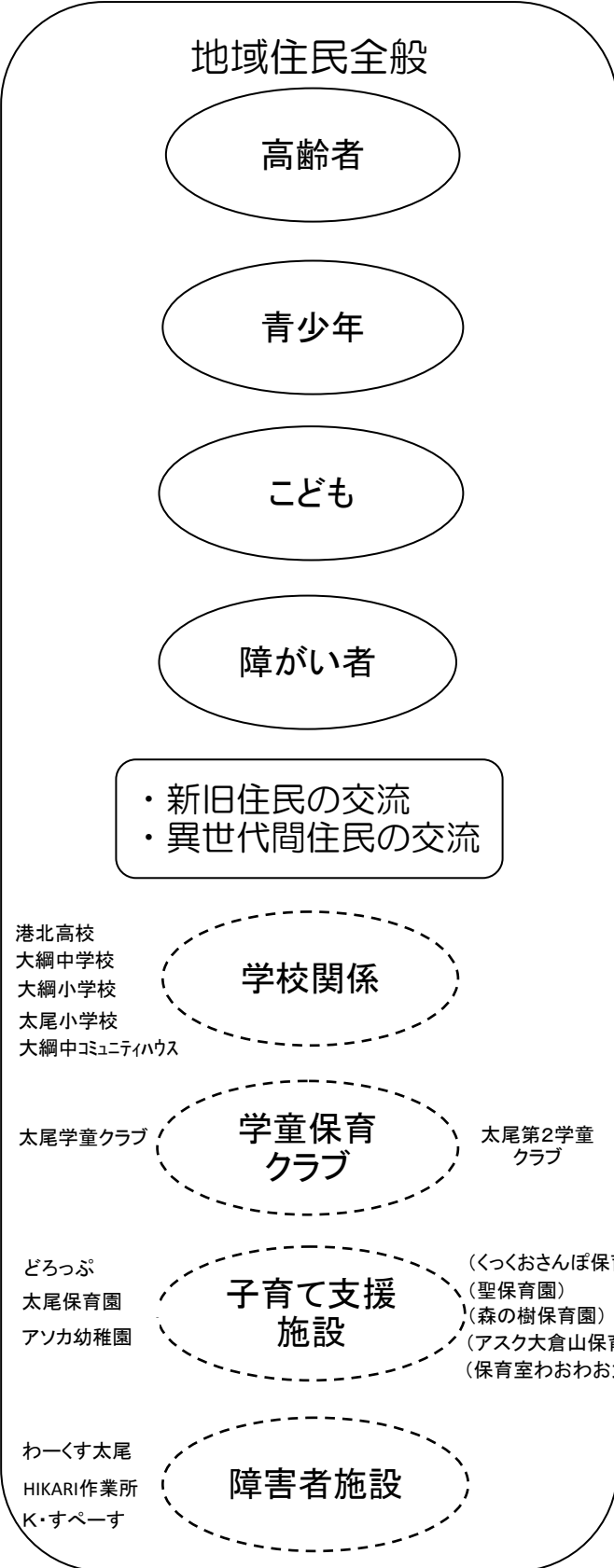
<大倉山夢まちづくり>

- ①連合町会、商店街合同で立ち上げ(H22.6.24)
- ②第2回以降区役所関係者も同席・大倉山記念館、梅林まわりの整備、桜まつりの実施、等

<港北区役所> 福祉保健センター・地域振興課、等

<太尾地区民生委員児童委員協議会>

- ・災害時における要援護者の安否確認-見守り、支えあい対応 他



<地域福祉保健計画推進委員会>

港北区地域福祉保健計画推進事業

- ・地元を知ろう! 太尾健康ウォーキング
- ・太尾支えあい祭り
- ・災害時における要援護者の見守り支えあい仕組みづくり
- ・太尾ITサロン
- ・大倉山便利マップの作成
 - ・推進委員会(H23/7/5~)
 - ・H23年度 ひっとプラン港北地区別計画
 - ・H24年度 ひっとプラン港北地区別計画

<港北区社会福祉協議会>

<太尾地区社会福祉協議会>

<社協部会活動の概略>

ア. 高齢者部会

- ・一人暮らし高齢者のお茶とお話しの会
- ・太尾フレンドサロン「いこい」: 推進中
70歳以上高齢者世帯等対象のサロン

イ. 青少年部会

- ・青少年環境健全化活動

ウ. 子育て支援部会、太尾っ子広場

- ・未就園児童と保護者を対象にしたサロン
七夕飾りづくり、クリスマスリースづくり、
親子でリズム体操、等(年10回開催)

エ. 地域健康部会

- ・囲碁、将棋を楽しむ会
- ・グランドゴルフ交流会(春・秋)
- ・ペタンク交流会
- ・ウォーキングの集い

オ. ボランティア部会

- ・福祉講座(介護・認知症予防、口腔ケア等)
- ・健康体操(はまちゃん体操等)
- ・体力向上プログラム
- ・障がい者施設に対する支援策に取組中

カ. 太尾ふれあいクラブ(家事援助等)

- ・買い物、掃除、洗濯、草取り、枝払い、
ゴミ出し、見守り・声かけ、パソコン指導、等
- ・担い手の発掘、増員計画推進中

キ. みんなの居場所の活動支援

- ・支えあい祭り、ウォーキング、ペタンク、
グランドゴルフ、等
- ・福祉相談、防犯相談、等
- ・ボランティア活動(エコ畑、各種教室、等)
- ・異世代交流(囲碁、将棋他)
- ・研修会、各種会議
- ・だろっぶ、わーくす太尾、等が利用

C. 学校関係

- ・ふれあい給食会
- ・学援隊活動

D. 3R夢 ふれあいフェスタへの協賛

E. ケアプラザ わくわく祭りへの協賛

F. 子育て支援「だろっぶデー」への協力

<大豆戸地域ケアプラザ>

2 わたしたちのまちの特色

篠原地区は、菊名・富士塚・篠原町・篠原西町・仲手原・篠原台町・篠原東の7町からなり、12の自治会があります。

地区の東部に東急東横線、北部に横浜線、西部に市営地下鉄の駅があり、特に横浜の陸の玄関、新横浜駅に隣接しているなど、比較的交通便利な地区です。

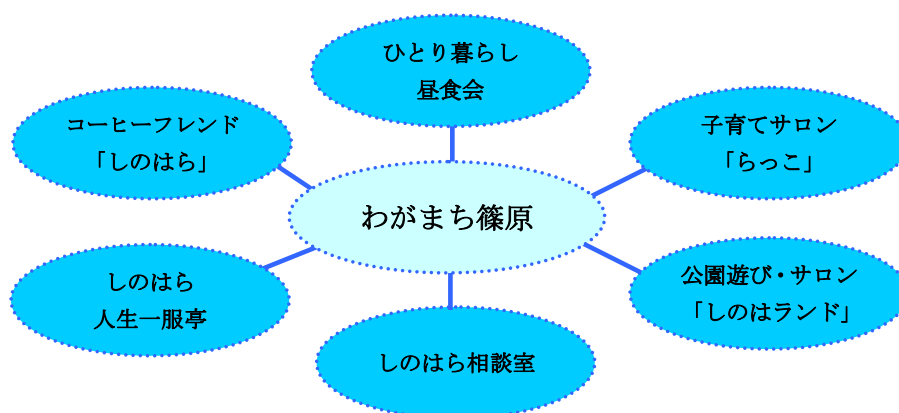
土地は起伏に富み、細い道も多いですが、緑が多く、環境の良いところが自慢です。

住民を年齢別にみると、25歳から40歳までが大きな山を、次いで45歳から60歳までが小山をなしており、高齢化率は20.2%で区平均と比べると若干高い程度に見えますが、絶対数は多く、1人住まい、2人住まいの高齢者が多くなっています。高齢者は、将来さらに増える見込みです。



傾斜地の公園（篠原町会下谷第二公園）

住民には比較的意識の高い人が多く、ボランティア活動も活発で、地域での子育て支援、高齢化への対応など取り組みが活発ですが、高齢化に伴って担い手を拡大し、各活動を横つなぎする必要性が強まってきており、特に若い人や、男性の活動参加が望まれています。



3 これまでの頑張り

篠原地区では、各自治会や種々のボランティア団体によって、既にいろいろな福祉メニューが取り組まれてきています。各町内会館でミニデイサービス、育児サークルが活発に行われています。そのような背景の中で、第1期計画では、「交流」「ボランティア」「安心・安全」「相談・情報」という4つの分科会を中心に活動しました。

「交流」では、お花や野菜の販売をきっかけに、施設間・団体間の交流や、活動のネットワーク化、異世代の交流が始まっています。

「ボランティア」では、やってほしいことや、参加する意向についてのアンケート、「安心・安全」では、非常時における高齢者のニーズと、支える人を集める方法についてのアンケートがそれぞれ実施され、ボランティア活動や、支援活動の必要性や要望が明らかにされてきています。



人生一服亭



自然体験教室



昼食会

「相談・情報」では、ホームページづくりが進められ、「ホームページ立ち上げ委員会」が作られて、サーバにアップされました。トップページのタイトルは「わがまち篠原」で、地域団体やサークルの発表、医療機関などへのリンクを含むなど、各種の活動について報告が載ることにより、次の活動につながる効果など、地区のホームページとしての目的を追求しています。

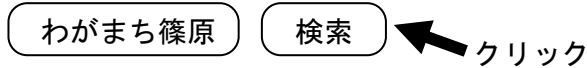
わがまち篠原 篠原地区の情報を共有する広場です

バス停時刻表	地区案内地図	地区カレンダー	地区からのお知らせ	篠原地区センター	電話帳	便利なサイト	港北区役所
・サイトの目的等	地区概要	電子チラシ	ニュース	篠原ケアプラザ	健民祭2011	文化祭2011	横浜市役所

・トップページ、健民祭、篠原西町、コーポ連合、菊名南自治会、体育指導委員を更新しました。1月26日
 ・「わがまち篠原」ホームページ掲載の写真や動画を募集 左下のメールか、又は第2土曜日10時までに篠原地区ケアプラザへお持ち下さい。

乳幼児 ・赤ちゃん会 ・子育てサロンらっこ ・しのはらポ ・わんぱく同盟 ・くれよんKIDS ・はひっこ ・MONKEY KIDS ・よちよち☆キッズ ・育児支援 ・ココマップ		・篠原地区社協 ・篠原地区連合町会 ・民生委員・児童委員 ・福祉ネットワーク ・体育指導委員 ・青少年指導員 ・保護司 ・保健活動推進員 ・家庭防災員 ・消費生活推進委員 ・消防団 ・わがまち篠原 老人福祉センター寿楽荘 港北区社会福祉協議会 災害時避難方法 妙蓮寺地区商店連合会 港北区連合町内会 横浜市内会連合会
子供 ・子供会 ・放課後学童クラブ ・おはなし会 ・こども映画会	篠原地区健民祭 11月13日 大会会長の挨拶 YOUTUBE 	健民祭 青少年指導員、体育指導委員 阿波踊り YOUTUBE
障害 ・コービーフレンド ・しのはらクラブ		
高齢 ・老人クラブ ・ミニデイサービス ・しのはら人生一服亭		
全般 ・しのはら相談室 (福祉、保健に係る相談) ご意見、写真、記者・開発者の募集 005588		

次のように「わがまち篠原」と入力して、ホームページを訪ねてみてください。



4 これから目指していく姿

安全で安心して暮らせるまち
 ひとりひとりがつくる 篠原
 子どももおとなもいきいき 篠原
 みんなで声をかけ合う 篠原

5 わたしたちのまちの取り組み

篠原地区では、既にいろいろな福祉メニューに取り組んでいます。そうした中で、第2期は、個々で行っているメニューを更にネットワーク化すること、既に行っているものをつなげ、ひろげていきます。

そのため「ひっとプラン港北」の3つのキーワード（ひろがる、つながる、とどく）に対応して、つぎのような具体策を掲げます。

キーワード		取組	
		目標	具体策
ひろがる	理解	●子育てサークルと地域ミニデイとの交流を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 自治会町内会の状況に応じて、可能な開催方法を検討します。 開催場所を検討し、増やします。
	担い手	●ボランティアの交流を図り、新たなボランティアの可能性を広げます。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ボランティア講座を実施します。 男性ボランティアや、高校生のボランティアなどを増やします。
つながる	知る	●障がい児の居場所づくりを行います。	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児への理解を深め、居場所づくりから検討を始めます。 学校とも連携し、具体的活動方法を検討します。
	活動	●地域活動の更なるネットワーク化を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会や各団体の活動を尊重し、ボランティアの交流や、連絡協議会の設置など、横の連携を検討します。
とどく	情報	●ホームページを活用します。	<ul style="list-style-type: none"> 地域団体やサークルの活動予定や活動報告を紹介します。 リポーターを探します。 情報量を増やし、充実させます。
	発見 早期	●安心・安全のため、要支援者を把握し、非常時のための支援活動を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時のあんしんカードを検討し、1地区で具体的な形にします。

6 ふり返りの仕方

策定委員会を篠原地区地域福祉保健計画推進委員会に改組して、定期的に活動をふり返し、推進体制や具体化に向けた進め方などを検証します。あわせて目標と具体策に沿って進行管理・推進を行います。

引き続き、各分科会を概ね2か月に1回開催します。

・「わがまち篠原」策定委員会：

委員長 川島武俊（篠原地区連合自治会長）

・問合せ先：港北区福祉保健課（540-2360）

港北区社会福祉協議会（547-2324）

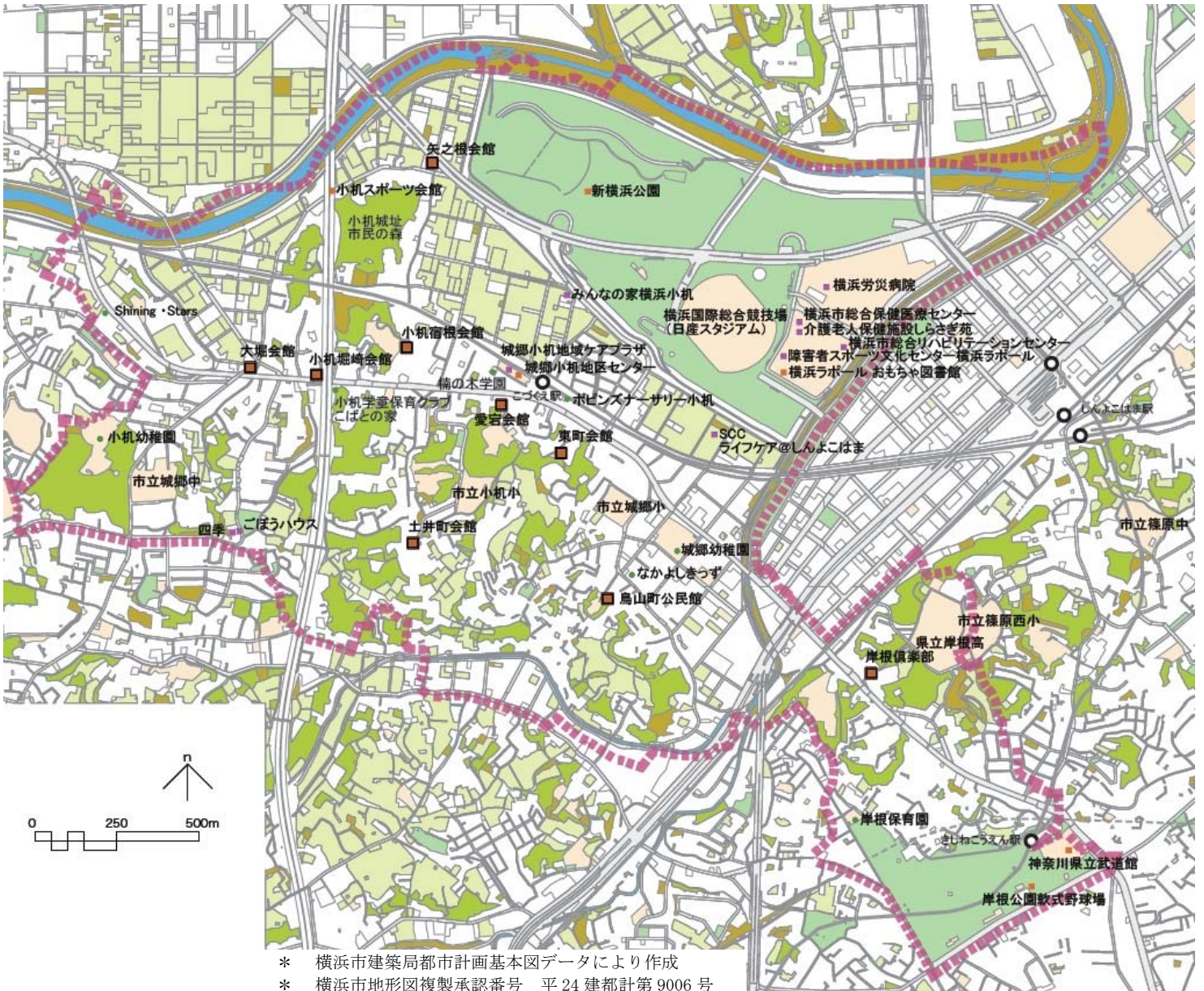
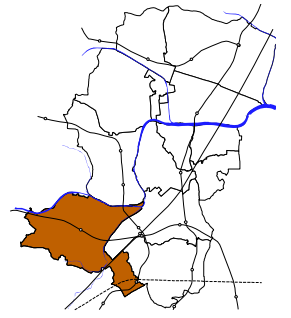


防災訓練



ウォーキング

たすけあうまち城郷



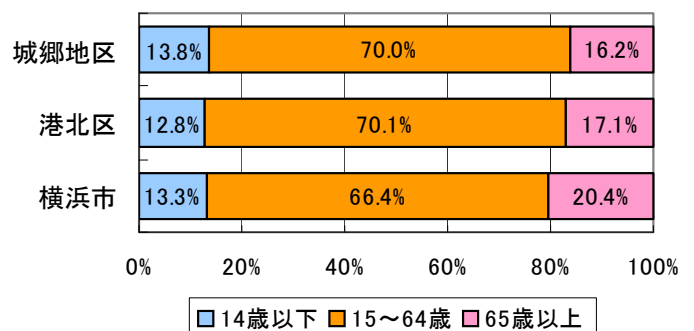
1 城郷地区の人口

世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
城郷地区	10,814	23,450	2.17
港北区	158,507	327,279	2.06
横浜市	1,707,980	3,702,388	2.17

*平成 24 年 3 月末現在

年齢3区分別人口構成



「たすけあうまち城郷」 達成のための活動指針

2 わたしたちのまちの特色

城郷地区は、小机町・鳥山町・岸根町からなり、9つの自治会町内会があります。鉄道駅は、横浜線小机駅と市営地下鉄岸根公園駅があり、新横浜公園、岸根公園、小机城址市民の森、日産スタジアム、横浜労災病院、横浜ラポール等の資源に恵まれています。

現在人口は23,450人で、約10,800世帯が住み、年々少しずつ増える傾向にあります。年少人口比率は13.8%と区平均より高く、高齢化率は16.2%と区平均よりも低いのですが、子育て支援と並行して高齢化への対応が徐々に大きな課題になりつつあります。

小机町と岸根町を中心に、子育て中の新住民の増加が目立ち、新旧住民の相互交流が必要になっているとともに、子育て支援や高齢者のミニデイ、障がい者との交流等といったボランティア活動の担い手拡大、各活動を横つなぎする必要性が強まっています。

3 これまでの頑張り

第1期計画では、「交流」「情報・相談」「ボランティア・担い手」という3つの取り組みを行いました。

「交流」の具体的な成果は、城郷小机地域ケアプラザによる交流情報の発信機能強化、発達障がい児向けの「しろさと地区放課後プラザ」の設置、平成22年4月にはコミュニティハウス「ホッと・カフェ」が開設されました。ミニデイサロン「城郷ひろば」に続き、平成17年1月からはグループひまわりによる「ふれあい昼食会」、平成20年9月からは毎月工夫を凝らしたプログラムで開催する交流サロン「城郷よってこ会」など、様々な交流会が有機的に活動の輪を広げています。さらに、転倒予防体操や健康体操などのグループが活動を通じて交流を深めています。

また、相互支援・交流を目的に、家事支援ボランティア「城郷ふれあいの会」が平成19年9月より活躍し、市民生活を地域で支えています。

「情報・相談」の具体的な成果は、『ふくしの城郷』・『ふくしの伝言板』等のポスティング、支えあい連絡会作成の家庭用緊急連絡先カードの全戸配布、地区民児協による子育てサロンでの相談の実施などです。

「ボランティア・担い手」の具体的な成果は、グループひまわり・城郷ふれあいの会・城郷よってこ会などで多くのボランティアが登録し活動が定着しています。また、自治会町内会によるチラシ配布などで効果をあげています。

4 これから目指していく姿

地域 みんなが「たすけあうまち城郷」

- (1) みんなが世代や立場を超えて交流するまち
【交流】
- (2) 必要な情報が伝わり相談しやすい安心のまち
【情報・相談】
- (3) 担い手が広がり活動がつながるまち
【ボランティア・担い手】



「地域の見守りネットワーク構築支援事業」の取り組みである

『ダン・ラン～男同志の昼食会～』の会食場面

5 わたしたちのまちの取り組み

推進委員会では、第1期計画での取り組み及び、第2期計画の検証をもとに、計画内容を検討した結果、次の4つを取組み目標とします。「ひっとプラン港北」の3つのキーワード（ひろがる、つながる、とどく）に対応して、取組みの目標と具体策を下記のように掲げます。

- ① 城郷よってこ会の地域展開（拡充）
- ② 城郷地区ボランティア連絡協議会の設立と取組み（新規）
- ③ しろさと地区放課後プラザの支援（拡充）
- ④ ホットカフェへの地域支援（拡充）

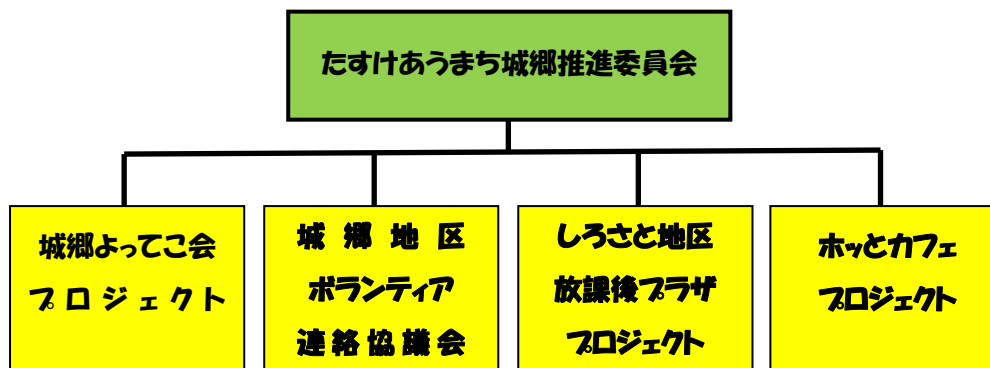
キーワード		取組	
		目標	具体策
ひろがる	理解	<p>●城郷よってこ会の地域展開</p> <p>毎月行う高齢者サロン「城郷よってこ会」をできるところ（自治会町内会単位）でできる形で実施。</p> 	<p>○自治会町内会の状況に応じて、可能な開催方法を検討 （城郷よってこ会・老人クラブ・自治会町内会・民生委員と連携）</p> <p>○開催場所（町内会館・自治会館）の検討・確保</p>
	担い手	<p>●城郷地区ボランティア連絡協議会の設立と取組み</p> <p>各地域・各テーマで活動するボランティアグループが協働して、担い手問題等に取り組む</p> 	<p>○運営委員会を定期的を開催する。</p> <p>○ボランティア団体相互の情報交換を密にする。 （情報交換の中から必要に応じて以下の事柄にも取り組む）</p> <p>○ボランティア相互の交流を図る。</p> <p>○担い手育成のための講座を開催する。</p>
つながる	知る	<p>●しろさと地区放課後プラザの支援</p> <p>自閉症・ダウン症等の発達障がいの子どもの居場所事業。事業拡大、開催頻度の拡大。</p> 	<p>○学校との連携方法の検討</p> <p>○年間を通じて定員の確保</p>
	活動	<p>●ホットカフェへの地域支援</p> <p>※みんなの居場所＝誰もが集える交流の場作りを支援する事業</p> <p>地域との関わり強化。</p> 	<p>○施設の地域開放利用の促進 （入りやすいようPRのためののぼり旗の設置、リーフレットの回覧など）</p> <p>○地域の集まりや交流事業への参加の促進 （経営するお母さんによる地域との関係づくり）</p>

6 ふり返りの仕方

第2期地域福祉保健計画城郷地区推進委員会が、1年ごとに活動を振り返り、推進体制や具体化に向けた進め方などを検証する司令塔的な役割を果たします。

具体的には、推進委員会のなかに、4つの取組みごとにプロジェクトを立ち上げ、リーダーを中心に推進、検証をすすめるものとします。

【計画推進体制】



7 活動風景



城郷ひろば



精神保健サロン
ひなたぼっこ



ふれあい昼食会



城郷よってこ会の野菜直売

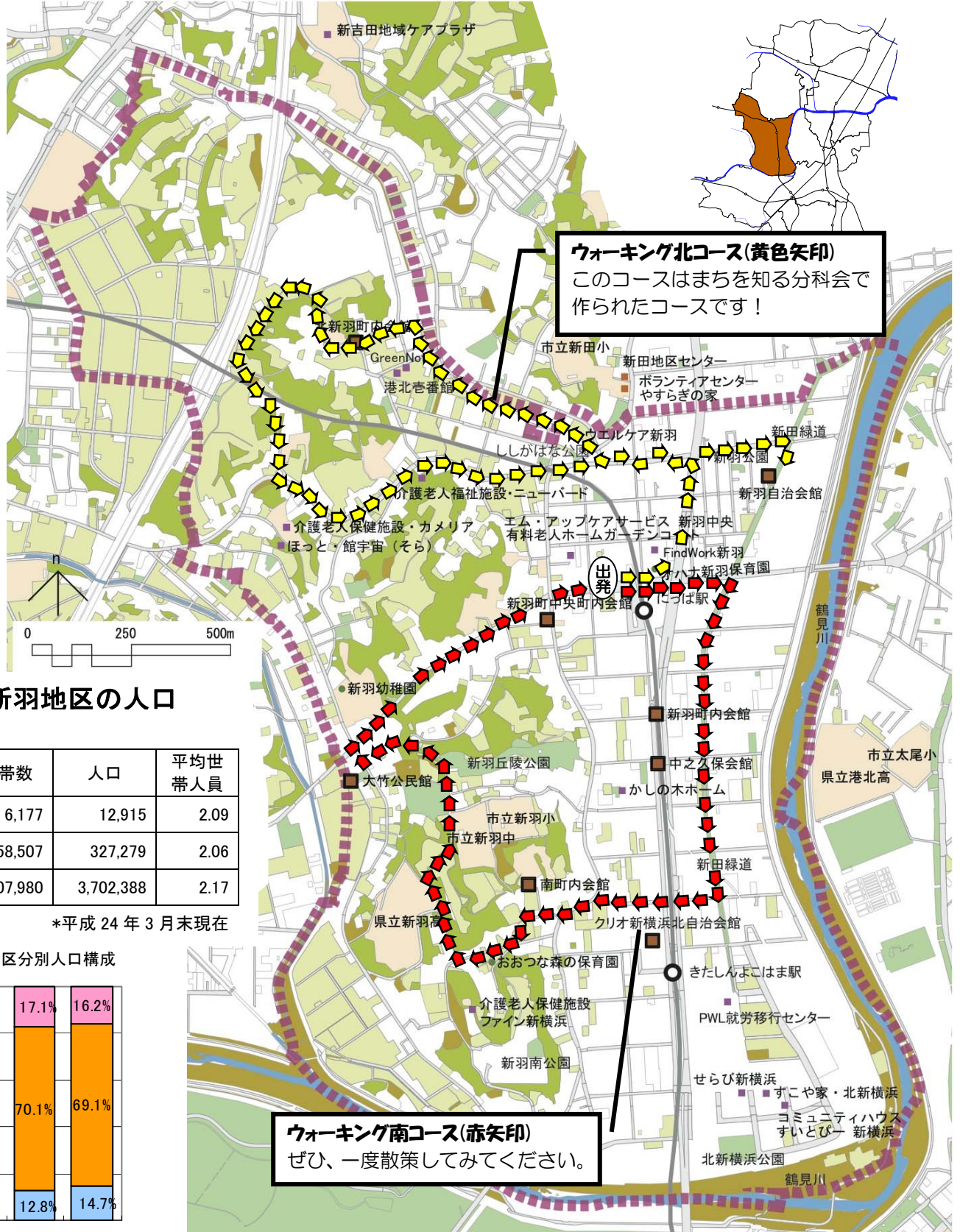


城郷ふれあいの会
送迎活動

< 城郷地区推進委員会 >

「和、輪、話」のまち につば

平和・福祉の「和」、みんなが手をつなぐ「輪」、みんなが話し合う「話」



ウォーキング北コース(黄色矢印)
このコースはまちを知る分科会で
作られたコースです！

ウォーキング南コース(赤矢印)
ぜひ、一度散策してみてください。

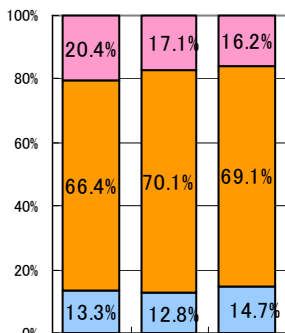
1 新羽地区の人口

世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
新羽地区	6,177	12,915	2.09
港北区	158,507	327,279	2.06
横浜市	1,707,980	3,702,388	2.17

*平成 24 年 3 月末現在

年齢3区分別人口構成



■ 14歳以下 ■ 15～64歳 ■ 65歳以上

* 横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
* 横浜市地形図複製承認番号 平 24 建都計第 9006 号

2 わたしたちのまちの特色

新羽地区は、新羽町、北新横浜をその範囲にしています。総人口は12,915人(平成24年3月末現在)、5年前に比べて354人増加しています。当地区は高齢者よりも、年少人口の割合が高く、区内でも2番目となっています。一方、高齢者は5年前に比べ3.4%、約486人の増加となり高齢化が進んでいます。

新羽地区には8つの町内会があります。近年、工場や倉庫が多かった地下鉄沿線にマンションが新設され、若者世代の増加が目立ってきています。一方で、町内会加入率は低下してきており、加入促進が今後の課題となっています。

新羽駅、北新横浜駅周辺に医療施設ができて、具合が悪くなっても地元ですぐに診察してもらえようになったことは高齢化が進む中での安心材料です。一方、幼稚園は一つしかなく他地区の施設に頼る現状です。

また、新羽地区には、福祉保健の拠点となる施設がありません。地域ケアプラザ、地区センターの建設は地域の住民の切なる要望です。

緑道公園が北新横浜から新吉田まで整備が完了しました。又、地区の東側、南側に鶴見川が流れています。これらの資源を大いに活用していきたいものです。

3 これまでの頑張り

第1期地域福祉保健計画にもとづき、新羽地区では「パワーアップにつば」「竹の子につば」「たんぼぼにつば」などの活動を推進してきました。

第2期計画の推進にあたり、推進委員会を開催し、第1期計画の(1)交流、(2)情報・相談、(3)場所・拠点、(4)ボランティア・担い手、(5)安心・安全の5項目について振り返りを行いました。その結果、テーマに基づいた分科会を組織し、以下の活動を行いました。

(1) 交流(異世代交流分科会)

23年度の活動をふまえ、夏の「流しそうめん」と年2回開催の「につばウォーキング」は24年度以降も継続して実施します。より多くの世代の人たちが楽しく交流できる場を、他団体の協力を得て提供していきたいと思ひます。また、地域既存のグループの活動をサポートし、異世代間の交流をさらに活発化したいと思ひます。



ウォーキングの様子



新羽地区イベントカレンダー

(2) 情報・相談(情報の共有化分科会)

「につば」2011~2012年イベントカレンダー(みんなの参加できるもの)を5,000部印刷し、町内会員宅に全戸配布しました。新住民用に掲示や不動産会社を通して配布しました。次回「アンケート」を取り、町のニーズを集約して「カレンダー」に反映させます。今後も継続して参ります。

(3) 場・拠点(まちを知る分科会)

新羽の「まち」を知ることから始まる。そのため、1) 町内の探検コース(散策コース)を南コースと北コースに分け、指定。2) 新羽町の地図に記入して探検していただく。3) 新羽町の見どころの冊子をつくる。以上3項目について、継続して進めていきます。



新羽地区ウォーキングマップ

(4) ボランティア・担い手

担い手の人材不足を解消するため、活動のPRの方法等の検討が必要です。

(5) 安心・安全

防犯灯のLED化の推進、学援隊との連携による学童の見守り、新入生への黄色い帽子の贈呈は今後も続けていきます。

4 これから目指していく姿

新羽地区 6,177 世帯の絆をより強くし、「思いやりと花と緑のまちづくり」のために、次の 4 点を基本テーマとして、地域福祉の取り組みを進めます。

- (1) 災害時に援護が必要な人の把握を進めより充実した活動にしていく。
- (2) 地域の福祉活動の情報の共有や周知の徹底を図る。
- (3) 異世代交流を、より活発にしていく。
- (4) 「新羽」のまちを知る活動を進める。

5 わたしたちのまちの取組

「ひろがる」、「つながる」、「とどく」をキーワードに、新羽の目指していく姿の実現に向けた取り組みを進めます。

情) 情報の共有や周知 異) 異世代の交流 町) まちを知る

キーワード	取組		
	目標	具体策	
ひろがる	理解	異) 地域にある活動グループの周知 異) 役員相互の連絡協力ができる体制づくり 町) 町を愛してもらい、町の現状を知る、町の地理を知る	異) 町会定例会で、役員にお願いする 異) グループに窓口をつくり、その団体の連絡網を活用して情報を伝える 町) 住民に見どころの多い「にっば」を PR する
	担い手	情) 人材募集の PR の仕方を工夫し、60 歳以上の人達にも活躍してもらい 異) 趣味等の、同好会、クラブなどの掘り起こし 町) 町内会各役員（地区社協評議員）及び有志を中心に担い手を確保する	情) 町内会役員会等、各種委員会にて PR する 異) 町会を通じて聞き取り調査をする
つながる	知る	情) 青少年指導員、スポーツ推進委員、町会、子ども会、民生委員児童委員、ボランティア団体それぞれの活動をつなげる 情) 小中学校との連携 異) 様々な世代が参加してまちを歩き、まちを知る 町) 名所を巡るとともに、福祉施設や避難場所を覚える	情) 各団体と連携して、新羽地区の催し物カレンダーを作って配布する 情) 学校・家庭・地域連絡協議会に積極的に参加する 異) 「パワーアップにっば」と老人会がハイキングを計画する 町) ハイキング、ウォーキングのルートや見所のマップづくり
	活動	異) 青少年指導員、スポーツ推進委員、子ども会の三本柱の強化 異) グループの催し物などに他のグループが参加し協力するようにする 異) 「ガッツにっば」の活動の活発化 町) 様々な世代が利用できる山間部と緑道の散策ルートをつくる	異) 青少年指導員、スポーツ推進委員、子ども会の活用をはかる 異) 「竹の子にっば」の芋煮会に「たんぼぼにっば」が参加する 異) 「たんぼぼにっば」を老人会が手伝う 異) 様々な世代が参加できるソーメン流しなどの催し物を定例化する 町) ハイキング、ウォーキングのルートや見所のマップづくり

キーワード	取組	
	目標	具体策
ふりかへ	情報	<p>情) すべての人にすべての情報を届けるのではなく、必要な人に必要な情報が届くようにする</p> <p>異) 地域の年間行事予定をつくる</p> <p>町) 野菜や果物を直販しているところを知りたい、伝えたい</p> <p>町) 鶴見川周辺にある資源をいかす</p>
	早期発見	<p>情) 老人会や敬老会行事を通じて高齢者や独居者の情報把握をすすめる。行政との連携もすすめる。</p> <p>情) パワーアップにつば、老人会、民生委員から情報を得る</p>

6 ふり返りの仕方

取り組み項目の進捗については、年度初めの4月をめぐりに推進委員会を開催し、分科会ごとに振り返りを行います。推進委員会では、各分科会の達成度合いを確認し、次年度の活動の修正を行っていきます。また、地区社協の総会で活動報告を行うこととします。

7 最後に



地域福祉保健計画の立案にあたって、準備委員会を立ち上げて方向を決め、策定委員会での検討へと進みました。策定委員会で今後の進め方を検討した結果、地区社協評議員会を開催し、新羽町を北、中、南地区にわけ、現在行われていることのリストアップまた、今後必要と思われること（課題）の洗い出しを行いました。

次に、評議員の中から各団体の責任者を中心に人選し、実行委員会を作り4つの基本テーマに対応した分科会を組織しました。

第1期地域福祉保健計画では、新羽地区支えあい連絡会で計画を推進してきましたが、第2期の計画では、みなさんの協力・支援を得ながら、実行委員会が責任をもって推進していきます。

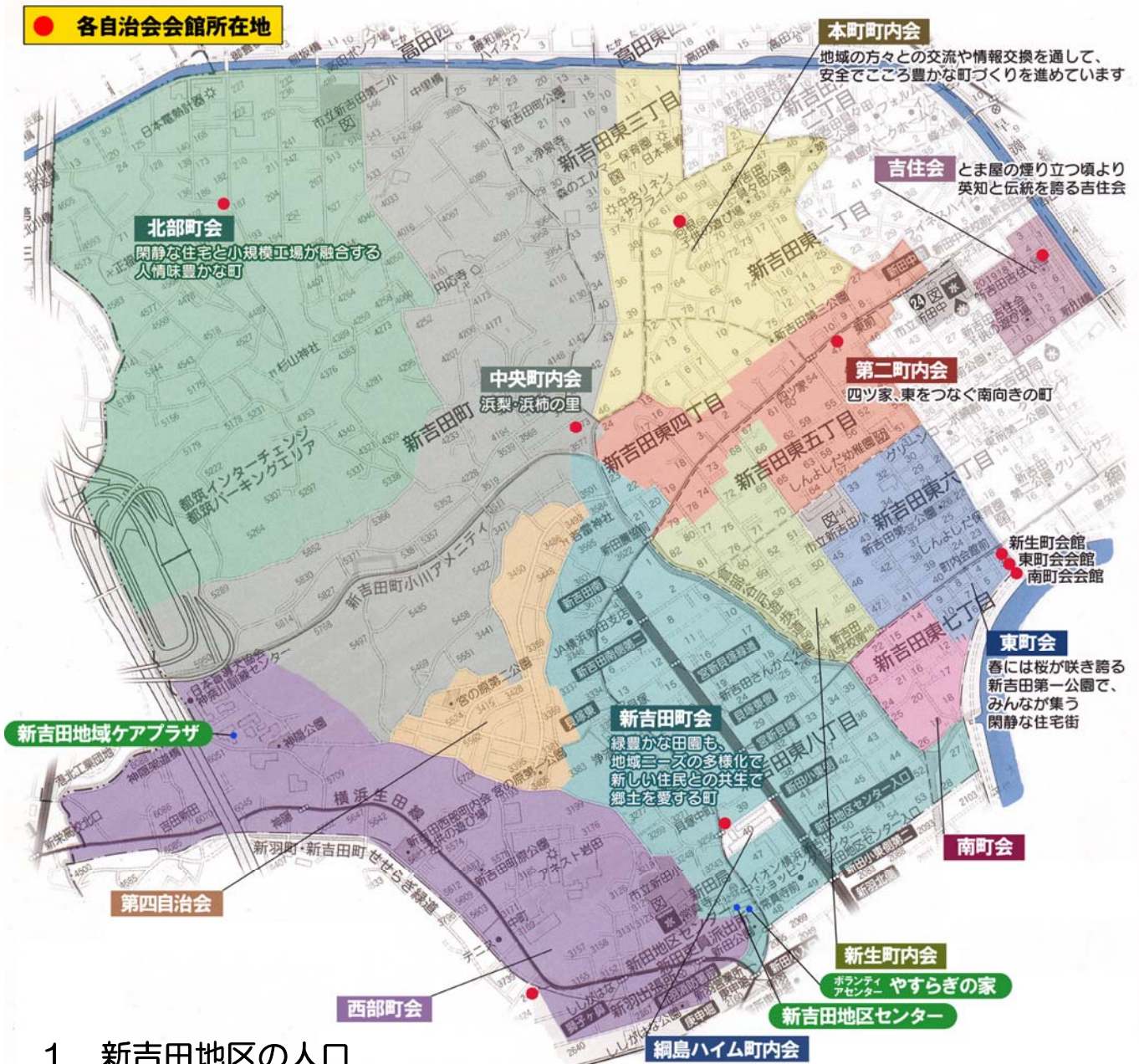
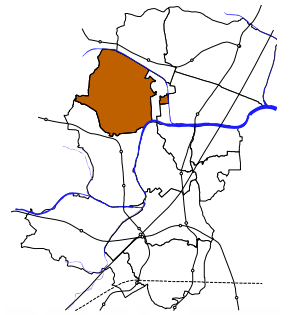
なお、平成20年度には、「災害時要援護者支援事業」に取り組み、災害時に援護が必要な人の把握や支援方法について検討をすすめました。

これから目指していく姿の取り組み(1)については、個人情報の扱いについて十分に留意して取り組むものとし、『「和、輪、話」のまち につば』から独立した地域の取り組みとして並行して展開します。

計画づくりに参加した組織・団体

新羽町連合町内会、新羽地区社会福祉協議会（地区社協）、新羽地区民生委員児童委員協議会、保護司会、保健活動推進委員会、パワーアップにつば、竹の子につば、たんぼぼにつば、大竹シニアクラブ、新羽町連合子ども会（子ども会）、青少年指導員、スポーツ推進委員

いいな！みんなのまち 新吉田



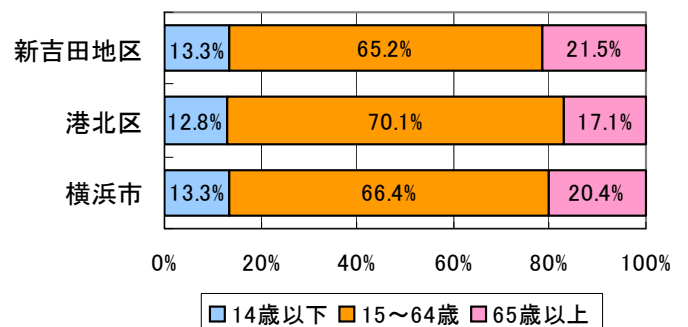
1 新吉田地区の人口

世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
新吉田地区	8,167	18,350	2.25
港北区	158,507	327,279	2.06
横浜市	1,707,980	3,702,388	2.17

*平成 24 年 3 月末現在

年齢3区分別人口構成



2 わたしたちのまちの特色

地区の東側、南側が住宅市街地となっており、宮内新横浜線の沿道で人口増加が続いていますが、全体として人口は安定傾向にあります。15歳未満と65歳以上の人口の比率がともに区平均を上回り、特に高齢者層の増加が続いています。

地区の西側、北側は丘陵地になっており、農地や樹林地が多く、この区域に高齢者や障がい者の福祉保健施設が多く立地しています。

3 これまでのがんばり

平成17年夏、第1期の地区別計画から、高齢者支援グループ「ほっと新吉田」が生まれたほか、港北区社会福祉協議会がボランティアや民生児童委員、もみじの会、地域ケアプラザと協働して行う福祉体験教室（車椅子・アイマスク・手話の体験）、子育て支援の為の「農」の収穫体験会、未就園児の為の親子コンサートの開催など、子育てから高齢支援まで多様な取り組みを行ってきました。

また、区の西側エリアのボランティアセンターの拠点として開設された「やすらぎの家」は新吉田地区社会福祉協議会が管理し、地域の福祉活動を支援する活動拠点として、何でも相談できる地域の窓口として有効に活用してきました。

4 これから目指していく姿

- ◎ 一人ひとりが手をつなぎ、明るく、住みよい福祉のまちを目指します。
- ◎ 緑豊かな地域の特性を活かし、子育て支援 高齢者支援の活動を多様に展開していきます。
- ◎ 地域の拠点ともなっているボランティアセンター「やすらぎの家」の活動とネットワークづくりを充実させ「必要な人に情報を届ける方法」を検討し有効に活用していきます。

5 わたしたちのまちの取り組み

◇取り組みの進め方

- ◆ 新吉田地区策定委員会であげられた3つの柱に取り組んでいきます。
- ◆ 今後の事業継続に欠かせない次世代の担い手を確保します。
- ◆ 様々な活動が各々相互に結びつくようネットワーク化します。



地域の活動拠点
ボランティアセンターやすらぎの家

◇取り組みの方向 - 3つの柱

◆災害時要援護者の支援

- ▶ 平成23年度に災害時に援護が必要な人の把握をすすめる為実施した、「支えあいカード」をいざという時に活かしていきます。

◆高齢者への対応

- ▶ 80歳以上の高齢者層が増加している現状を受け止め、民生児童委員や「ほっと新吉田」と必要な手助けができるよう支援していきます。

◆子育て世帯の支援

- ▶ 平成24年4月未就園児対象の子育てサロン「よしだっこ」がスタートしました。民生委員児童委員協議会の協力を得ながら、地域ぐるみで支援していきます。
- ▶ 未就園児、乳幼児を対象とした「親子コンサート」「芋ほり体験会」を継続し、「ふれあい動物園」の開催を、学校・地域と連携しながら開催していきます。



子育てサロン「よしだっこ」
毎月第2木曜日午前 開催

キーワード	取り組み	
	目標	具体策
ひろがる	理解	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者等の理解を広める。 ・子どもの「夏休みボランティア体験」「車椅子体験」「夏休み福祉体験」を継続しつつ更なる充実を図っていく。 ・通学時の付添い、保育園送迎、外出時の見守りなど障がい児の生活支援を継続する。 ・世代間の交流をすすめる。
	担い手	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会（ボランティア入門講座、高齢者、介護、認知症）を継続する。 ・広報「ほっと新吉田」によるボランティア募集を継続・充実する。 ・「ふれあい動物園」「手遊び講座」「音楽会」「芋掘り体験」など親子のふれあい、子育て世帯の支援を継続・充実する。 ・「よしだっこ」を地域ぐるみで支援する。
つながる	知る	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動しているグループの必要な情報を共有できるよう発信していく。 ・地域の活動や町内会・自治会の活動の把握をすすめ、会の必要な情報を相互把握できるよう連携を取る。 ・運動会、盆踊り、お祭りふれあい動物園等の地域交流イベントなどの情報発信を継続・充実する。
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動をネットワークする。 ・学校、PTAと地域の連携をすすめる。 ・地域の活動や町内会・自治会の活動の把握をすすめ、連携や役割分担をする。 ・小学校の子どもへのプールの付添い支援等を継続・充実する。

キーワード		取り組み	
		目標	具体策
と ど く	情報	<ul style="list-style-type: none"> 必要な人に情報を届ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動拠点としての相談窓口「やすらぎの家」を活用していく。 広報「ほっと新吉田」の刊行継続・充実する。 地域開催事業の広報を拡大充実する。
	早期発見	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に援護が必要な人を把握し、日常活動にも活かす。 徘徊する高齢者を早期発見する仕組みをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 町会別に作成し港北区と締結した要援護者リスト「支えあいカード」を安全かつ適切に維持管理し、日常の見守り、声かけ等の活動に活かす。 防災訓練を継続し、実際に役立つ訓練を充実させる 地域ケアプラザ等と連携して高齢者の早期発見や問い合わせに対応できる仕組みをつくる。 隣接する地区と連携するネットワークを作る。

6 ふり返りの仕方

取り組みに挙げた3つの柱の、要援護者リスト「支えあいカード」が集約され港北区と締結しました。また、子育て支援の取り組みとして、念願の未就園児対象の子育てサロン「よしだっこ」が誕生しました。着々と事業がすすめられ、推進委員会の活動は、一つ一つ計画を実現化しています。

7 最後に

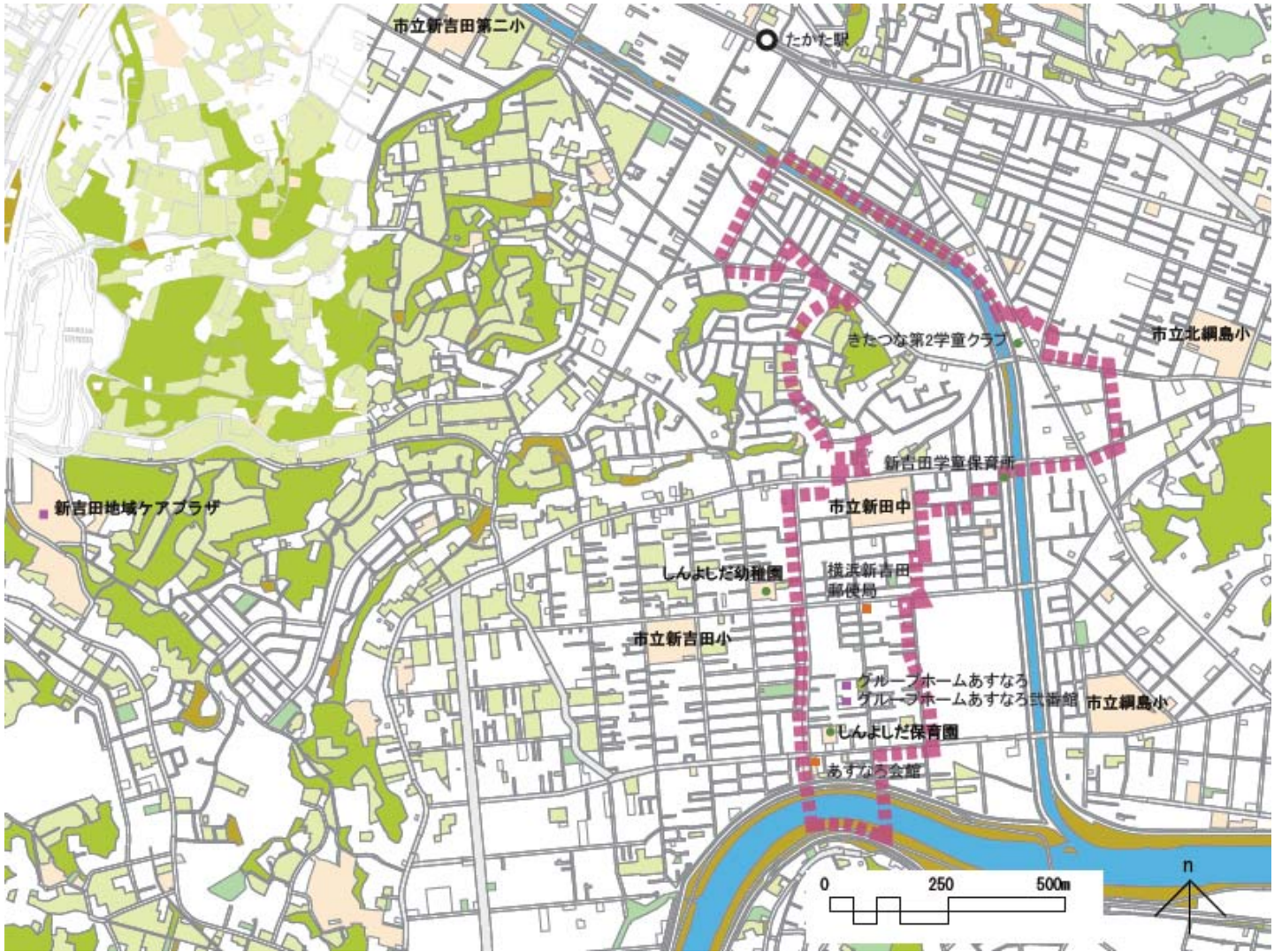
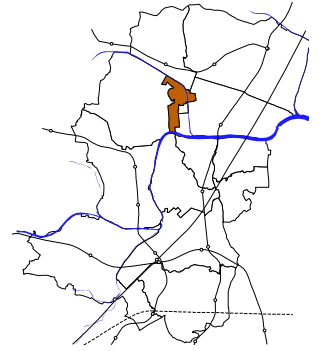
第2期地域福祉保健計画「ひとつプラン港北」新吉田地区計画は、この計画にもとづいて、新吉田地区の福祉保健のまちづくりに積極的に取り組み、残る高齢者支援の取り組みを進めていきます。



計画づくりに参加した推進委員

新吉田連合町内会会長、新吉田地区社会福祉協議会会長、新吉田地区民生委員・児童委員協議会会長
 新吉田地区の12町会の町内会会長、新吉田地区社会福祉協議会事務局長・事務局次長・会計、ほっと新吉田代表、もみじの会代表、保健活動推進員地区会長、消費生活推進員地区代表、民生委員・児童委員、主任児童委員

もっと・ホットに 「あすなる」



* 横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
* 横浜市地形図複製承認番号 平24建都計第9006号

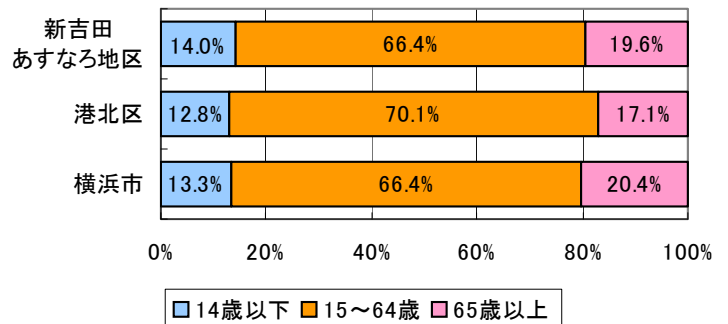
1 新吉田あすなる地区の人口

世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
新吉田あすなる地区	4,207	9,551	2.27
港北区	158,507	327,279	2.06
横浜市	1,707,980	3,702,388	2.17

*平成24年3月末現在

年齢3区分別人口構成



2 わたしたちのまちの特色

新吉田あすなろ地区連合町内会には、旧来の市街地の自治会町内会5つとマンションの自治会町内会5つ、合計10の自治会町内会があります。

住宅が増えており、昔は畑だったところがアパートやマンションになりました。また、工場の跡地もマンションになっています。もともと一軒家があった土地が空くと、そこを分割して複数の家を建てて販売をされる傾向があり、それを購入した若い世代が他の地区から転入しているようで、若い世代の比率は区の平均を上回っています。また団塊の世代も多く暮らしている地区です。

新吉田あすなろ地区は、区域としては小さく、まちづくりの担い手となる人が少ないものの、まともは最高と自負しており、福祉保健のまちづくりを頑張っています。

3 これまでのがんばり

第1期計画にもとづいて、様々な活動を推進してきました。

多様な世代が参加する盆踊り大会やふれあい運動会などの交流イベントや防災訓練に、地域全体で取り組んでいます。高齢者や子育てについても個別の活動を行ってきました。「あすなろまつり」(高齢者グループホームあすなろ)へも参加をしています。あすなろ地区の防災訓練には障がいのある方も参加しています。

また、徘徊高齢者を早期に発見するしくみ「あすなろさがしてネット」の活動をすすめるなど、地域の特徴や課題に応じた独自の取り組みも行っています。

平成21年度には、「災害時要援護者支援事業」に取り組みました。災害時に支援が必要な方の把握を行い、日常的な見守りや災害時の支援方法などの検討をすすめました。

今後は、団塊の世代、高齢者や障がいのある方等地域の居住者の実態把握や活動の担い手の確保をすすめ、活動に対する理解を地域内でさらに高めることを目指します。



盆踊り大会の様子

4 これから目指していく姿

新吉田あすなろ地区のスローガンに基づき福祉保健のまちづくり活動をすすめていきます。

- (1) みんながコミュニケーションをとれるまち あすなろ
- (2) 声かけと顔の見える関係づくりのまち あすなろ
- (3) 誰もが困っている人に手を差し伸べられるまち あすなろ
- (4) みんなが交流を深め、まちづくりに参加するまち あすなろ
- (5) 子どもも大人も安心して安全に生活できる、活力あるまち あすなろ

5 わたしたちのまちの取組

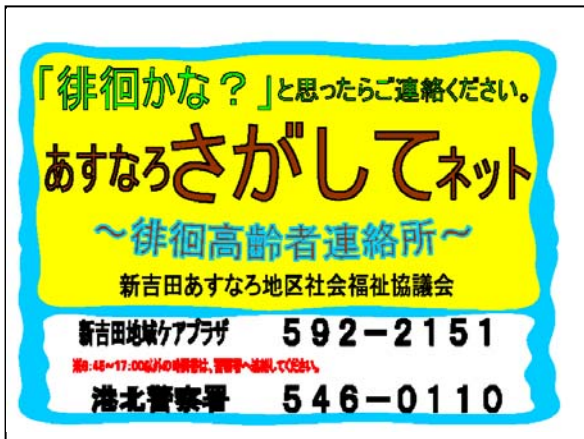
キーワード		取組	
		目標	具体策
ひろがる	理解	<ul style="list-style-type: none"> ・みんながコミュニケーションをとれるまち ・声かけと顔の見える関係づくりのまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の研修会の回数を増やしたり、障がい者やその家族との交流の機会を増やす等、理解をひろげる取組を充実します。 ・「あすなるまつり」（グループホーム）への参加、障がい者施設の訪問・見学などを通じて、障がい者や高齢者への理解をひろげる取組を継続・充実します。
	担い手	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが交流を深め、まちづくりに参加しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「盆踊り大会」、「お祭り広場」や「ふれあい運動会」、「防災訓練」など地域全体でとりくむ交流イベント等で地域福祉保健計画の活動の PR 等を行い、活動の周知や担い手の確保をすすめます。
つながる	知る	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもも大人も安心して安全に生活できる、活力あるまちにしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育てサロン」を継続する等、若い世代が安心して住める取組を進めます。 ・「一人ぐらし高齢者サロン」「シルバー健康体操」「転倒・骨折予防体操教室」などの活動を継続・充実し、生活支援の必要な高齢者、元気な高齢者の健康維持等、高齢者が安心して元気に暮らせる環境づくりをすすめます。
	活動		<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する地域と連携して「あすなるさがしてネット」をつなげます。
とどく	情報	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが困っている人に手を差し伸べられるまちをつくらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラザの講座やイベントなどを利用し、地域に今以上に情報が届くよう、仕組みづくりをします。 ・各委員の行事や情報がより一層届くよう工夫して取組みます。
	早期発見		<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員会で検討します。 ・「あすなるさがしてネット」の仕組みをより多くの地域の人に知ってもらうためのチラシやポスターを作成し、徘徊している人への声かけや早期発見ができるようにします。また、「あすなるさがしてネット」の情報メール配信を開始し、より多くの人にすばやく情報が行きわたるようにします。



運動会の様子



防災訓練の様子



あすなろさがしてネット
連絡拠点ステッカー



あすなろさがしてネット
模擬訓練の様子

6 ふり返りの仕方

地区別計画の策定委員会を発展的に改組し計画の推進委員会をつくりました。「わたしたちのまちの取組」について推進委員会を定期的で開催して取組の達成状況を1年ごとにふりかえるとともに、新たな取組などを検討し、目標とする地域の姿を実現していきます。

7 最後に

推進委員会を順次開催してふりかえりや取組の方向などについて検討をすすめました。

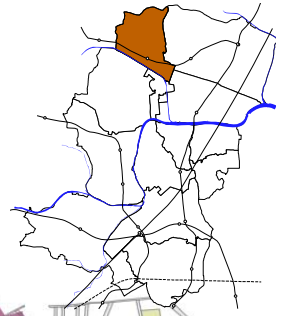
皆さんの協力や支援を得ながら、この計画をもとにして、新吉田あすなろ地区の福祉保健のまちづくりをすすめていきます。

推進委員会のメンバー

新吉田あすなろ連合町内会、新吉田あすなろ地区社会福祉協議会

新吉田あすなろ地区民生委員・児童委員協議会

みんなが笑顔、 助け合いのまち高田



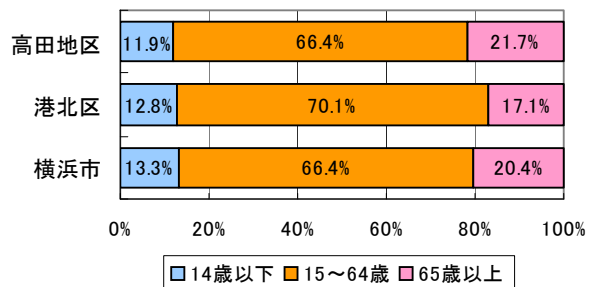
1 高田地区の人口

世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
高田地区	8,119	17,511	2.16
港北区	158,507	327,279	2.06
横浜市	1,707,980	3,702,388	2.17

*平成 24 年 3 月末現在

年齢3区分別人口構成



■ 14歳以下 ■ 15~64歳 ■ 65歳以上

2 わたしたちのまちの特色

高田地区は、港北区の北東部に位置し、南部は戸建て住宅が多く、北部は農業振興地域として、畑と戸建て住宅が混在する地区です。南部では、平成 20 年 3 月に横浜市営地下鉄「グリーンライン」が開通し、駅周辺の整備も進んでいます。

高齢化率は 20%を超え（H24.3）、区内では1番高齢化が進んでいる地区です。一方、子育て世代の流入は、区の平均に比べてやや低くなっており、ここ 10 年間では人口の大きな増減は見られません。

地区には 8 つの自治会町内会があります。

3 これまでの頑張り

高田地区では、幾つかの自治会町内会が、災害時要援護者名簿を作成し、自治会町内会の各班長毎による名簿の所有・更新、マップに災害時要援護者情報を記載するなどの対策を進めてきました。

災害時要援護者対策が進んでいない地区においても、敬老の日に合わせ、高齢者の名簿づくりなどを行い、おおよその状況把握をしています。

4 これから目指していく姿

各自治会町内会の特性や状況に即した災害時要援護者対策を行い、各地域ごとにステップアップしていきます。

災害時要援護者対策への取組を通じ、となり近所の関わり、人と人のつながりをつくれます。

5 わたしたちのまちの取り組み

災害時に、要援護者が適確に避難できるような支援体制を整備するため、各自治会町内会で次の取り組みを推進します。

キーワード		取 り 組 み	
		目 標	具 体 策
つながる	理解	災害時要援護者支援・近隣の助け合いの必要性に関する理解を広げます。	<ul style="list-style-type: none"> 住民アンケートを行い、必要性を喚起します。 災害時の連絡網づくりの必要性や名簿作成の気運／雰囲気をつくります。 一般の人に防災訓練参加を促すことで、体制づくりの基盤をつくります。
	担い手	災害時要援護者の近くで、協力の輪を広げます。	<ul style="list-style-type: none"> 全ての自治会町内会エリアに協力者を配置します。
つながる	知る	災害時要援護者を把握し、支援体制をつくります。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者を把握します。 把握している要援護者を3分類し、情報の更新を行い、自治会町内会長が把握します。 把握している要援護者をリスト化し、定期訪問等により情報を更新します。
	活動	自治会町内会と民生委員が連携し、災害時要援護者支援の体制をつくります。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者名簿を自治会町内会と民生委員で共有します。
つなぐ	情報	自治会町内会と地区社協が連携・協力し、要援護者支援の取り組みが地域に広く届くようにします。	<ul style="list-style-type: none"> 高田地区社会福祉協議会の機関誌「翔」にコラムを設け、逐次取り組みを紹介していきます。
	発見期	災害時のみでなく、普段から見守りを行います。	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者名簿を基にし、災害時のみでなく、普段から見守りを行う体制づくりを継続して行います。

6 振り返りの仕方

計画策定委員会を計画推進委員会へ移行し、各自治会町内会ごとに取り組みを振り返ります。

7 各自治会町内会の取組

	取組み	
	目 標	具体策
親和会	<ul style="list-style-type: none"> 現在取り組んでいる要援護者支援の取組みを継続します。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしや集合住宅に住んでいる方で名前を把握していない方を名簿に載せ、名簿搭載率を100%に近づけます。
自治会 しらすか	<ul style="list-style-type: none"> 現在取り組んでいる要援護者支援の取組みを継続します。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に役員の目が届くように名簿の中身を強化します。
中央町内会	<ul style="list-style-type: none"> 支援者の人材の輪を拡げます。 要援護者マップの精度を上げます。 	<ul style="list-style-type: none"> 要支援者リストの精度を上げます。 町会のリストと民生のリストのすり合わせを行います。 町会役員と民生児童委員と認識の統一を図ります。
高田町内会	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし要援護者への声かけ訪問を強化します。 	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者の見守り活動をします。
東町会	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし要援護者への声かけ訪問を強化します。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の積極的参加を呼びかけ、体制づくりの基盤を構築します。 いっとき避難場所の徹底をします。
住宅親交会	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者名簿を作成します。 	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者名簿の情報の更新を行います。
西原自治会	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者支援の取組みを継続します。 	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者名簿作成の理解を深める。 必要性を喚起するための住民アンケートに取り組みます。 災害時の連絡網づくりの必要性や名簿作成の気運/雰囲気をつくります。
住宅自治会	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者支援の取組みを継続します。 	<ul style="list-style-type: none"> ハートの会各委員（小グループ制リーダー・サブ）が中心となり、要援護者を主に緊急避難場所へ誘導訓練を行います。（5月～6月） 要援護者リストの情報更新を行います。 毎月1日朝9時より安否確認会を行います。

8 「みんなが笑顔、助け合いのまち高田」計画推進委員会

委員長： 大賀 和夫

副委員長： 宮田 光明

推進委員： 高田町連合町内会、高田地区社会福祉協議会、高田地区民生委員児童委員協議会

第3章 区全体計画

区全体計画は、13地区の取り組み（地区計画）がスムーズに行なわれるように区役所（以下、区）と区社会福祉協議会（以下、区社協）が互いに協力して支援するものです。また、地区だけでは解決できない課題や、他地区に共通する課題にも区民と一緒に取り組みます。

1 6つの目標

目標1：地域活動を担う人材を広く集めます

目標2：地域活動が円滑に行えるように支援します

目標3：地区計画の推進を応援します

目標4：福祉保健に関する活動を支援します

目標5：情報を収集し提供する仕組みづくりを進めます

目標6：必要なサービス・相談支援が届く仕組みづくりを進めます

2 平成23年度の振り返りと平成24年度の取り組み

平成23年度にスタートした「ひっとプラン港北」では、「ひろがる つながる とどく」を推進の柱に、**6つの目標**に沿って区民の皆様と一緒に地域課題の解決に取り組んできました。

東日本大震災をきっかけに、地域で人と人がつながることの大切さが再認識されています。一人ひとりの人権を尊重していくことと同時に、身近な人々と互いに支えあう仕組みをつくっていき、一方で、地域とつながりたくてもその術を持たない人たちの支援をどのように行っていくかを重要な課題と考えて取り組んできました。また、その課題の解決には、区や区社協だけではなく、地域や関係機関、活動団体と継続的に連携していくことが必要と考えます。

ひろがる

目標 1：地域活動を担う人材を広く集めます

地域の福祉保健活動を担う新たな人材の育成や交流を行うことにより、担い手の拡充を図ります。

23年度の取り組み目標	振り返り
<p>●担い手不足への対応</p> <p>福祉保健活動を行っている団体にヒアリングを行うなどして担い手不足の実態を調べ、対策を検討します。</p>	<p>障がい児・者の移動に関する相談の中でニーズの高いことが明らかになった通学支援に対して、地域を会場に『障がい児の外出セミナー』を開催しました。</p> <p>セミナー参加者をいかに新たな担い手としてボランティアにつなげるかということが課題と考えます。</p>
<p>●担い手の育成・発掘</p> <p>区民活動支援センターと区ボランティアセンターとが連携し、担い手を募集している団体と活動に参加したい人を結びつける場をつくりまします。新規人材の発掘のために、学校と地域の連携を支援します。</p>	<p>区社協ボランティア分科会が発行するボランティア情報誌を区民活動支援センターの掲示板に掲示したことで、区民の目に触れ、活動の参加者が増えています。</p> <p>『学生子育てサポーター』や『福祉体験学習』に参加する学生が増加しており、若い世代の人材育成につながっています。</p> <p>地域で人材発掘の役割を期待される区民利用施設の職員等を対象に『人材育成研修』を開催したことにより、関係機関同士の連携につながりました。</p> <p>区社協ボランティア分科会は、新たな人材を発掘する方法について勉強会を開催し、活動団体自らが担い手を発掘する方法について学びました。</p>
<p>●担い手の交流</p> <p>区全域で高齢者支援・子育て支援などの活動をしている個人・団体と、自治会町内会など地域に根差した活動をしている個人・団体が顔の見える関係をつくり、共通の目標をもって協働できる仕組みづくりを行います。</p>	<p>区社協在宅福祉分科会で行った各団体・機関との情報共有や意見交換をきっかけに、送迎サービスに関する検討や学習を行いました。団体同士の交流を広げていくことや、各団体が蓄積した事例を共有化していくことが次の課題です。</p>

平成24年度の取り組み

●担い手の育成・発掘

- ◆ 区民活動支援センターと区ボランティアセンターとが連携して、担い手の育成に取り組みます。
- ◆ 地域での福祉保健活動を支えるコーディネーターを育成します。

●担い手の交流

- ◆ 区全域で活動している個人・団体が、共通の目標をもって協働できる場、機会を増やします。

目標 2 : 地域活動が円滑に行えるように支援します

地域活動が円滑に行われるよう、具体的な負担軽減方法を検討します。

23 年度の取り組み目標	振り返り
<p>●地域活動団体の負担軽減の検討 区役所・区社協から地域への依頼事項について、団体役員のご意見を伺いながら、負担が軽減される方策を検討します。</p>	<p>回覧物等の削減を所管課から各課に依頼し、区役所全体で取り組みました。また、区や区社協が招集する会議の効率的な運営を心掛け、回数を減らす検討を行いました。</p>
<p>●個人情報保護に関する課題の検討 高齢者の見守り活動などを行う際に、地域が必要としている個人情報の取り扱いについて、区役所と地域の連携方法を検討します。</p>	<p>『災害時要援護者支援事業』では、13 すべての連合町内会で取り組みが始められており、区役所から名簿を提供しています。</p> <p>住民の個人情報への関心の高まりから地域活動が困難な場合がありますが、地域に向いて個人情報保護に関する啓発を行うことなどで、活動が円滑に進む支援を行いました。</p>

平成 24 年度の取り組み

●地域活動が円滑に進むための環境づくり

- ◆ 個人情報が正しい理解のもとに活用され、地域での見守り活動が円滑に進むよう、関係者間の情報共有に関する考え方を整理します。

つな が る

目標 3 : 地区計画の推進を応援します

地区ごとの特徴や課題に応じて住民が主体となって進める活動を支援します。

23 年度の取り組み目標	振り返り
<p>●地区計画推進のための支援</p> <p>区役所・区社協・地域ケアプラザの職員から成る地区計画サポートスタッフが、各地区の状況に応じた支援を行います。あわせて、各地区計画を幅広く地域住民へ PR します。</p>	<p>地区計画サポートスタッフは、地域の取り組みにあわせて、会議やイベントに参加し、必要な助言等を行うなどの支援を行ってきました。</p> <p>また、地域支援のスキルアップを図るため、サポートスタッフを対象にした研修を実施し、関係者の連携の重要性と地域支援の手法について理解を深めました。</p> <p>各地区計画は、地区ごとに全戸配布を行うとともにホームページなどで周知しましたが、継続的なPRが必要と思われます。</p>
23 年度の取り組み目標	振り返り
<p>●港北ほくほくフェスタ・活動報告発表会の開催</p> <p>地域の福祉保健活動の発表の場を設け、地域を越えたネットワークづくりのきっかけを作ります。</p>	<p>『港北ほくほくフェスタ』では「災害時に生きる！地域のつながり」をテーマにしたフォーラムを行いました。区民の関心が高いテーマを設定したことによって約 1,000 人の来場者を迎え、盛況でした。フォーラムでの登壇者の発表や、各地区の活動を紹介するパネル展示は、地域活動へのヒントになりました。</p> <p>区からの補助金を受けて活動した団体の活動報告会や、地区社会福祉協議会による情報交換会を実施し、ネットワークづくりの端緒となりました。</p>

平成 24 年度の取り組み

●地区計画推進支援

- ◆ 区・区社協・地域ケアプラザの職員から成る地区計画サポートスタッフが、各地区における地域の方々の主体的な取り組みを支援します。
- ◆ 地区の活動を地域の方々に広く周知します。また、活動発表や担い手の交流の場をつくることによって、活動の広がりを促します。

●地区課題の共有化

- ◆ 地区計画推進にあたって明らかになった課題を区全域の課題として取り組みます。

目標4：福祉保健に関する活動を支援します

地域主体の福祉保健活動に対して経済的な支援や情報提供などを行います。また、住民や団体が交流する場をつくり、ネットワークづくりに関する支援を行います。

23年度の取り組み目標	振り返り
<p>●地域の事業応援</p> <p>福祉保健を行っている団体の事業の登録制度を作り、積極的に広報する、地域へ情報提供を行うなど、更に団体同士のネットワークの促進に繋がります。</p>	<p>『福祉保健活動応援事業』の開始に向け、対象事業や登録の流れなどを検討し、要綱案を作成しました。</p>
<p>●自主的な福祉保健活動への助成</p> <p>区役所の「地域のチカラ応援事業」及び区社協の「港北みんなの助成金」を通じ、地域の自主的な取り組みを支援します。</p>	<p>関係課ごとに所管していた補助金を統合し、区民にとって分かりやすい相談窓口、課を越えて連携した支援ができる体制をつくりました。</p> <p>この『地域のチカラ応援事業』では48事業に補助金を交付し、ほかに4事業を後援しました。また、報告会を通じて活動団体の交流を行い、今後の活動のヒントとなりました。</p> <p>『港北みんなの助成金』では268事業に助成を行いました。支援に対するニーズの変化に伴い、助成金の内容について検討を行いました。</p> <p>地域が自主的に取り組む見守り活動に対して、補助金を交付し、活動の支援をしました。</p>

平成24年度の取り組み

●福祉保健活動の支援

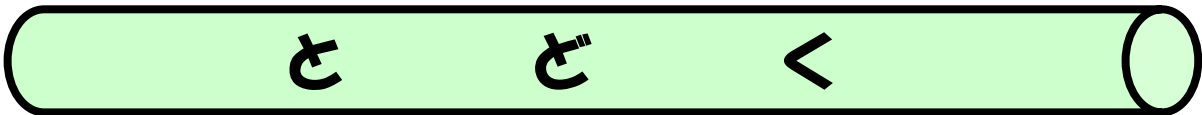
- ◆ 補助金交付や広報、団体同士の交流の場づくりなどを行うことにより、地域の方々が主体的に取り組む活動の活性化と継続への支援を行います。

●地域とつながる交流の場づくり

- ◆ より身近な地域で交流が活発に行われるために、地域活動の拠点や、地域の様々な世代が交流できる場・機会を増やしていきます。

●支援者のネットワークづくり

- ◆ 支援が必要な人を支える人たちが連携して支援を行えるよう、支援者同士が交流する場をつくり、また、スキルアップを図ります。



目標5：情報を収集し提供する仕組みづくりを進めます
 支援を必要とする人に対して、より届きやすい情報提供のあり方を検討し、地域活動団体が行う情報発信を支援します。

23年度の取り組み目標	振り返り
<p>●福祉保健に関する情報発信 ホームページなどを通して港北区全体の福祉保健に関する団体の情報を提供します。</p>	<p>『ボランティア新聞（区社協ボランティア分科会）』、生涯学習支援情報誌『楽・遊・楽』などの広報紙や冊子、ホームページ、タウンニュース（ふくしまど）などを通して、地域の福祉保健活動に関する情報を、区民に提供しました。これらの広報から情報を得た活動への参加者が少しずつ増えてきています。</p> <p>さらに福祉保健団体を含む区内の各種団体を掲載したガイドブック作成のための情報を収集しました。</p>
<p>●ホームページ作成支援 地域が福祉保健に関するホームページを自ら作成・更新できるよう講師を派遣するなどの支援を行います。</p>	<p>いくつかの地区で地区計画推進の中でホームページの立ち上げが検討、実践されました。現在のところ、地域人材の活用で充足されていると考えています。</p>
<p>●障がい者の移動支援に関する情報提供 送迎サービスに関する情報を集約し、公共交通機関を使った外出が困難な障がい者の方々へ適切な情報提供を行います。</p>	<p>公共交通機関を使った外出が困難な障がい者の方々へ『おでかけGO！港北』の相談窓口を通じて外出に関する各種制度の利用方法等について情報提供を行いました。1年間で約80件の相談があり、その相談の中から特に通学支援に対するニーズが高いことがわかりました。</p>

平成24年度の取り組み

- 必要な人に必要な情報が届く仕組みづくり**
 - ◆ 高齢者や障がい者、子育て中の世帯などに、正確でわかりやすい情報を提供していくとともに、より「とどきやすい」方法を検討します。
- 福祉保健活動に関する情報発信**
 - ◆ ホームページや広報紙などを通して地域の福祉保健活動に関する情報を提供し、活動の活性化や担い手の拡充を図ります。
- 地域からの情報発信に対する支援**
 - ◆ 技術的支援や仲間づくりなどを通して、福祉保健活動に関する地域の方々自らの情報発信を支援します。

目標 6：必要なサービス・相談支援が届く仕組みづくりを進めます
 支援が必要な人を支える仕組みづくり等、誰もが安心して暮らせるまちづくりを支援します。

23年度の取り組み目標	振り返り
<p>●高齢者・子育て世帯の孤立防止、虐待の予防・早期発見への取り組み支援</p> <p>普段からの近所づきあいやあいさつなど日常的な見守り活動の重要性、早期発見・通報の必要性などの啓発と、相談支援体制の充実を図ります。</p>	<p>高齢者の虐待や認知症対策として、『かえるネット』を徘徊高齢者事前登録制度に改め、徘徊時の早期帰宅につながりました。また、虐待防止ポスターを医療機関に掲示していただき、啓発と同時に医療機関との連携につなげました。</p> <p>子育て世帯への支援の1つである『先輩ママによる元気っ子サポート』では訪問件数が増えており、子育て不安の軽減につながりました。</p>
<p>●貧困の世代間連鎖への対策の検討</p> <p>貧困の世代間連鎖を断ち切るため、大学やNPO・地域社会との協働による支援策について検討します。</p>	<p>NPO 法人に事業委託し、慶応義塾大学とも連携して、生活保護世帯の中学生に対して週1回の教育支援を区内2か所で行い、高校進学などの成果をあげました。年度途中からの事業開始ということもあり参加者が少なかったことと、高校進学後も卒業に向けた支援が必要であることが課題です。</p>

平成24年度の取り組み

●地域で見守る仕組みづくり

- ◆ 日常的な近所づきあいが安全で安心なまちづくりにつながることや、問題の早期発見の必要性を啓発します。あわせて困ったときに気軽に相談ができ、支援につながるよう、相談支援体制の充実を図ります。
- ◆ ひとり暮らし高齢者等の支援が必要な人を地域で見守るために、地域と支援機関が情報共有等で連携する仕組みを検討します。

●高齢者・子育て世帯等の孤立防止、虐待の予防への取り組み支援

- ◆ 高齢者や子育て世帯などが地域で孤立することなく生き生きと暮らせるよう、地域の方々の交流の場づくりや互いに助け合う活動の支援、相談支援の充実を図ります。

●高齢者、障がい者、子育て世帯等への理解促進

- ◆ 障がいや認知症などについて関心と理解を深めるための啓発を行い、誰もが地域で安心して暮らせる地域づくりを進めます。

●貧困の世代間連鎖への対策

- ◆ 大学やNPO・地域と協働し、生活困窮世帯への学習支援を継続していきます。

区役所・区社協は、地域の「ひろがる」「つながる」「とどく」を支援します。

3 区役所の取り組み

【高齢者関係の主な取り組み】

＜福祉保健課、高齢・障害支援課＞

取組内容	取組例
<p>○ 高齢者が孤立せず、住み慣れたまちで健康に安心して生活し、区民同士の交流、支え合い、見守りが活発に行われる地域づくりを支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出張健康講座や、地域で活動する介護予防グループの支援を行います。 ・身近な地域で区民同士が交流しながら介護予防を行う「元気づくりステーション」を実施します。 ・区が保有するひとり暮らし高齢者の個人情報をもとに、民生委員・児童委員の活動を支援し、地域での見守り活動を推進します。
<p>○ 認知症、虐待の予防と早期発見・対応に関する啓発・普及に取り組み、介護者の支援と共に、地域住民の理解を深めていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・徘徊や虐待の早期発見や防止に関する啓発活動とともに、徘徊高齢者事前登録制度や、虐待相談窓口の周知に取り組みます。 ・介護者向けのセミナーや介護者のつどいを実施します。

【障がい児者関係の主な取組】

＜高齢・障害支援課、こども家庭支援課＞

取組内容	取組例
<p>○ 障がいがある人も地域で安心して生活できるよう支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児の余暇活動を支援します。 ・精神障がい者の居場所づくりを支援します。 ・障がい者や家族の健康づくりのため、健康講座を開催します。 ・障がい理解促進のための啓発を行います。 ・支援者ネットワークの強化を図ります。

【子育て関係の主な取り組み】

＜地域振興課、福祉保健課、こども家庭支援課＞

取組内容	取組例
<p>○ 子育て当事者、地域団体、関係機関との連携により、地域で子育てを支えあう仕組みをつくりまします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の子育てに関わる団体や関係機関のネットワークづくりを進めるとともに、講演会等を通じて養育者や支援者の子育てに関する知識の向上を図ります。 ・地域団体等と連携して児童虐待対策を推進します。
<p>○ 地域で孤立しがちな子育て世代を対象に、様々な交流の場づくりを行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出生後早期の母子訪問や、「こんにちは赤ちゃん訪問」にさらに力を入れていきます。 ・赤ちゃん会や家庭教育学級等を通じて子育てをしている親の仲間づくりを支援します。 ・子育て支援拠点や保育園、子育て支援者による相談など、身近な地域で相談ができる機会を増やします。 ・子育て世帯の食に対する不安解消のため、保育園で給食をテーマにした育児講座を開催します。また、地域ケアプラザを会場にした離乳食教室を実施します。

【健康づくり関係の主な取組】

＜福祉保健課＞

取組内容	取組例
<p>○ 生活習慣病予防や健康に関する意識が高まるよう、保健活動推進員や食生活等改善推進員と連携しながら、区内の健康づくりに関する取り組みを支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング等による健康教室を開催するとともに、地域における運動活動を支援する団体のリーダーを育成します。 ・地域の健康づくり教室を支援します。

4 区社会福祉協議会の取り組み

取組内容	取組例
<p>○ 地域の福祉活動の支援を行います。 地域住民が主体となって地域の福祉活動を進められるように、ケアプラザと連携して地域の課題分析・整理を進め、地区社会福祉協議会の活動支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協で行なう先駆的事業を、地区社協の事務局長と協働で事例集としてまとめます。 ・地域力検定（地区社協活動の自己診断）を推進します。 ・地域ケアプラザと連携し、地域の課題発見や支援方法等を検討します。
<p>○ 福祉保健団体の活動支援を行います。 港北区内で活動する福祉保健団体が円滑に活動できるように、港北みんなの助成金や他団体との情報交換の場の提供を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・港北みんなの助成金による活動支援として、ひっとプラン港北推進区分を新しく設置し、実施します。 ・区社協分科会活動を通じた区域でのテーマ別課題検討を行ないます。 ・福祉保健活動拠点（活動の場の提供）を運営します。
<p>○ 直接サービスを提供します。 地域だけでは解決が難しい課題に対し、港北区社会福祉協議会として、事業を行い、サービスを届けます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の移動支援に関する各種制度、サービスの利用方法等について情報提供を行ないます。 ・送迎サービスを実施します。 ・あんしんセンター（日常生活自立支援事業）事業を実施します。 ・ボランティアセンターを運営します。 ・生活福祉資金の貸付を行ないます。
<p>○ 福祉保健に関する情報を収集し、提供します。 福祉保健活動団体の情報収集提供や広報誌やホームページを通じて福祉に関する情報提供を行い、福祉への関心を高めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・区民活動支援センターと連携し、コボット（港北ボランティアネットワーク）Web版を活用して、福祉保健活動団体に関する情報提供を行ないます。 ・ふくしのまど（区社協広報誌）、ボランティア分科会新聞を通じて福祉保健に関する団体の情報提供を行います。 ・ホームページを通じて地域福祉に関する情報をタイムリーに提供し、より区民が使いやすい情報提供を心がけます。また、職員によるブログを展開し、地域団体情報などを職員目線で継続的にアップします。

